



- 1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
- 2 未来への道を切り拓く力が育っている
- 3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 子ども・子育て支援事業計画推進事業
事務事業番号 010101010684
担当所属 こども福祉部こども家庭室こども政策課
担当課長名 伊藤 浩一

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 01 1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策 01 1 仕事と子育てを両立できる環境整備を進めます
主な施策 01 1 社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備
課別別計画
事業期間 平成24年度 ~
会計種別 一般会計
事業種別 自治事務
根拠法令等 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号) / (略称) 認定こども園法一部改正法(平成24年法律第66号) / (略称) 整備法(平成24年法律第67号)
実施区分 直営
財源 市、国・県等の補助
施設種別

【事業概要】

事業概要
【対象】 市民(主に妊産婦、子育て中の親子、子育て支援に関わる地域住民及び事業所)
【意図】 妊産婦、子育て中の親子、子育て支援に関わる地域住民及び事業所が、地域で子どもたちが育ちあう仕組みに関わり全ての子どもたちの健全育成を目指す。
【大きな目的】 「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指す。
・子どもを産み、育てやすい社会の実現を目指す。
・親子がともに成長し合えるように、社会全体で子ども・子育てを支援する取組を進める。
【全体概要】
□子ども・子育て会議の開催(25年8月~)
□教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況及び利用希望の把握(25年度)
□5年を1期とした子ども・子育て支援事業計画(第1期計画)の策定(26年度)
□子ども・子育て支援事業計画の推進・評価等の進行管理(27年度~)
□教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況及び利用希望の把握(30年度)
□5年を1期とした第2期子ども・子育て支援事業計画(第2期計画)の策定(令和元年度)
□子ども・子育て支援事業計画の推進・評価等の進行管理(令和2年度~)
□教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況及び利用希望の把握(令和5年度)
□5年を1期とした第3期子ども・子育て支援事業計画(第3期計画)の策定(令和6年度)

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 42,811 20,564 7,256
事業費 千円 42,811 20,564 7,256
特 国費 千円 0 0 0
定 県費 千円 0 0 0
財 市債 千円 0 0 0
源 その他 千円 21,590 17,055 96
一般財源 千円 21,221 3,509 7,160
うち人件費合計 千円 16,373 10,429
活動配分 人 2,300 1,700
正職員 人 2,150 1,200
会計年度任用職員 人 0,150 0,500
うち経費 千円 0 0
減価償却費 千円 0 0
他部門経費 千円 0 0
事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)
子ども・子育て支援基金積立金が減少したため。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
■令和元年度に策定した第2期計画の進行管理方法に沿った実績報告、評価の実施(令和3年度分)及び第2期計画の中間年見直し
令和 4年度の実施内容
【主な事業内容】
■第2期計画の進行管理
・子ども・子育て会議の開催(2回)126千円
・中間年見直し
■子ども・子育て支援基金の運用
・子ども・子育て支援基金積立金 19,086千円
令和 4年度の改善内容
■昨年度子ども・子育て会議で決定した進行管理方法に沿って、第2期子ども・子育て支援事業計画2年目の実績報告及び評価を実施した。
■目標と実績が乖離している事業等の支援中間年見直しを実施した。
現在認識している課題
■第2期計画の進行管理(目標値と実績値に乖離が生じた場合の対応等)
■子ども・子育て会議の円滑な運営

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 法令等により市が実施しなければならない
子ども・子育て支援法に基づき、市が主体となって実施しなければならない。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
計画中の施策分野1、施策目標1・2において、整合性はある。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
創生総合戦略の中の「若い世代の子育ての希望をかなえる」という部分において推進に貢献している。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革を着実に実行しているか
総合評価 改革終了/計画どおり実行中
令和3年度評価を実施し、計画通りに業務を遂行している。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統廃合はできない
類似の事業はなく、統廃合はできない。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できる
広報や会議運営について、紙媒体から電子媒体を中心とした運営方法にシフトすることで効果を上げられる可能性はある。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
現段階で必要最低限の費用で実施しており、経費節減の余地はない。
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価 負担を求めるべき事業ではない
事業内容自体が特定の市民に利益をもたらすものではないため。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
■第2期計画に基づく子育て支援事業の推進
■令和4年度分の実績報告、評価の実施
■第2期計画の進行管理(目標値と実績値との乖離の確認)
■第3期計画策定のための市民意向調査の実施
今後の課題
■第2期計画に基づく子育て支援事業の推進
■子ども・子育て会議の円滑な運営
■第3期計画の策定
今後の取組・方向性
■第2期計画の進行管理
■子育て支援情報の更なる発信と周知
■第3期計画の策定
【総合評価】
子ども・子育て会議において協議した評価方法により進行管理を実施し、次期計画策定を見据え今後の支援施策の推進を図っていく。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 ある程度改善の余地がある
今後の方向 拡大・充実

令和5年度 事務事業評価票 (令和4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content includes '特定教育・保育施設等施設整備事業', '子ども福祉部子ども家庭室ほいく課', '01010101040', and '田中 孝之'.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes '戸書の将来像', '総合計画' (with sub-rows for 施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), '課題別計画', '事業期間', '根拠法令等', and '実施区分'.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes details about '就学前児童' and '教育・保育施設及び地域型保育事業に関する整備'.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和3年度決算, 令和4年度決算, 令和5年度予算, 令和4年度決算について, 注. Includes rows for '合計', '事業費', '特定国費', '特定県費', '財市債', '源その他', 'うち経費', and '減価償却費'.

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)
令和3年度は2か所(朝日ヶ丘幼稚園敷地、伊勢幼稚園敷地)の整備を行ったが、令和4年度の整備は1か所(朝日ヶ丘幼稚園敷地)の残工事のみであったため、歳出額・人件費共に減少した。

【令和4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和4年度目標, 令和4年度の実施内容. Includes '私立認定こども園の整備' and '市立保育所の民間移管'.

Table with 2 columns: 令和4年度の実施内容 (continued), 令和4年度の改善内容. Includes '令和4年6月1日に朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園が開園した'.

Table with 2 columns: 令和4年度の改善内容 (continued), 現在認識している課題. Includes '保育ニーズの変化への対応' and '民間移管した保育所の建替えに係る法人や保護者との協議等'.

Table with 2 columns: 現在認識している課題 (continued), 【事業の評価】. Includes '【目的妥当性評価】事業実施に妥当性があるか'.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価内容. Includes '【目的妥当性評価】前期基本計画との整合性はあるか', '【有効性評価】評価結果や計画立案された改進黨を着実に実行しているか', '【効率性評価】手段変更によって費用対効果をあげることができるか'.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Includes '保育ニーズの変化への対応' and '今後の取組・方向性'.

Table with 2 columns: 【総合評価】, 総合評価. Includes '令和4年4月に打出・大東保育所の運営を民間事業者へ移管し、また、旧伊勢幼稚園敷地に私立幼保連携型認定こども園が開園した'.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名	病児保育事業	事務事業番号	010101010666
担当所属	こども福祉部こども家庭室ほいく課	担当課長名	田中 孝之

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像	人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市		
総合計画	施策分野	01 子育て・教育	
	施策目標	01 1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している	
	基本施策	01 1 仕事と子育てを両立できる環境整備を進めます	
	主な施策	01 1 社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備	
課題別計画			
事業期間	平成22年度 ~	会計種別	一般会計
		事業種別	自治事務
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、戸屋市病児・病後児保育事業実施要綱、戸屋市病児保育事業（体調不良児対応型）実施要綱		
実施区分	委託	財源	市、国・県等の補助、使用料など
		施設種別	

【事業概要】

<p>【対象】 市内在住の生後6か月から小学校6年生までの児童（病児・病後児対応型）及び就学前施設に入所している児童（体調不良児対応型）。</p> <p>【意図】 病気等で保育所などでの集団生活が困難な児童を一時的に保育すること及び保育中に体調不良となった児童への緊急対応により、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図る。</p> <p>【大きな目的】 病気等の児童の一時預かり事業（病児・病後児対応型）保育中に体調不良となった児童のための安心かつ安全な体制の確保（体調不良児対応型）</p>	<p>【全体概要】 病児・病後児対応型 (1) ・実施場所・・・市立戸屋病院施設内 ・利用定員・・・1日あたり4人 (2) ・実施場所・・・市立精道こども園施設内 ・利用定員・・・1日あたり3人 ・利用時間・・・7:30~18:00 ・利用料金・・・1人1日当たり2,000円 ・利用方法・・・事前に利用登録が必要</p> <p>体調不良児対応型 ・実施場所・・・保育所、認定こども園、小規模保育事業所</p>
---	--

【事務事業の経費】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 4年度決算について
合計	千円	100,054	104,090	83,927	住民1人当たり(円) 1,112.12
事業費	千円	100,054	104,090	83,927	1世帯当たり(円) 2,443.26
特 国費	千円	16,694	20,134	24,127	人口 93,596
特 定 県費	千円	16,694	20,134	24,127	世帯数 42,603
財 市債	千円	0	0	0	
財 その他	千円	916	1,066	2,604	令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より
一般財源	千円	65,750	62,756	33,069	特記事項・備考
うち人件費合計	千円	35,693	32,998		
活動配分	人	8,300	7,200		
正職員	人	2,300	2,400		
会計年度任用職員	人	6,000	4,800		
うち経費	千円	0	0		
減価償却費	千円	0	0		
他部門経費	千円	0	0		
事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)					

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標	病児・病後児保育事業を安定的に実施する。
令和 4年度の実施内容	<p>病児保育事業（体調不良児対応型）</p> <p>●市立戸屋病院内（定員:4人） ●市立精道こども園内（定員:3人）</p> <p>1. 利用延べ人数 182人（前年度209人） 1. 利用延べ人数 381人（前年度265人）</p> <p>2. 費用 16,954千円 2. 費用 20,667千円</p> <p>病児保育事業（体調不良児対応型）</p> <p>1. 利用園数 17園（うち公立4園）</p> <p>2. 費用 53,827千円</p> <p>※費用については私立園に対する委託料を記載</p>
令和 4年度の改善内容	いせ虹こども園、あいさいこども園が体調不良児対応型事業を実施した。
現在認識している課題	

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 事業実施に妥当性があるか	総合評価	現段階では市による実施が妥当である
[目的妥当性評価] 前期基本計画との整合性はあるか	総合評価	整合性はある
[目的妥当性評価] 総合戦略の推進に貢献しているか	総合評価	貢献度が中程度
[有効性評価] 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか	総合評価	改革終了/計画どおり実行中
[有効性評価] 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか	総合評価	類似事業はない/統合はできない
[効率性評価] 手段変更によって費用対効果をあげることができるか	総合評価	できない
[効率性評価] 成果を低下させずに、コストを削減できるか	総合評価	コスト削減の余地はない
[効率性評価] 受益者負担を求めることができる事業か	総合評価	適正な負担を求めている

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容	病児・病後児保育事業を安定的に実施する。												
今後の課題	病児・病後児保育事業を安定的に実施する。												
今後の取組・方向性	病児・病後児保育事業を安定的に実施する。												
[総合評価]	<table border="1"> <tr> <td>市立戸屋病院及び市立精道こども園の2箇所を実施しており、引き続き、安定した事業運営が実施できた。</td> <td>妥当性</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>また、いせ虹こども園、あいさいこども園において体調不良児対応型事業を実施することで保育環境の充実が図れた。</td> <td>達成度</td> <td>概ね達成した</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改善余地</td> <td>改善の余地はない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>今後の方向</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	市立戸屋病院及び市立精道こども園の2箇所を実施しており、引き続き、安定した事業運営が実施できた。	妥当性	あり	また、いせ虹こども園、あいさいこども園において体調不良児対応型事業を実施することで保育環境の充実が図れた。	達成度	概ね達成した		改善余地	改善の余地はない		今後の方向	現状維持
市立戸屋病院及び市立精道こども園の2箇所を実施しており、引き続き、安定した事業運営が実施できた。	妥当性	あり											
また、いせ虹こども園、あいさいこども園において体調不良児対応型事業を実施することで保育環境の充実が図れた。	達成度	概ね達成した											
	改善余地	改善の余地はない											
	今後の方向	現状維持											

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 市立幼稚園子育て支援事業, 教育委員会教育部教育統括室管理課, 010101010659, 竹内 典子.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 内容, 値. Includes 戸書の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 対象, 全体概要. Includes details about childcare support for guardians, budget, and objectives.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes financial breakdown for childcare support.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 内容. Includes childcare support for guardians and budget details.

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容, 内容. Includes details about implementation of childcare support.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 内容. Includes details about improvements in childcare support.

Table with 2 columns: 現在認識している課題, 内容. Includes details about current challenges.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価. Includes various evaluation criteria like appropriateness, effectiveness, and efficiency.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Includes future goals and directions for childcare support.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 あしやキッズスクエア事業
事務事業番号 010101021031
担当所属 教育委員会教育部社会教育室青少年育成課
担当課長名 富田 泰起

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 01 1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策 01 1 仕事と子育てを両立できる環境整備を進めます
主な施策 02 2 子どもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくり
課題別計画 戸屋市次世代育成支援対策推進行動計画
事業期間 平成26年度～ 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務
根拠法令等 新・放課後子ども総合プラン
実施区分 直営、委託 財源 市、国・県等の補助 施設種別 学校園

【事業概要】

事業概要
【対象】 実施小学校区の小学校1年生～6年生
【全体概要】 あしやキッズスクエア
設置場所：市内小学校
平成27年度～（精道、山手、潮見）
平成28年度～（宮川、朝日ヶ丘、浜風）
平成29年度～（岩園、打出浜）
開設日：月曜日から金曜日（祝日、8/10～8/16、12/25～1/5、運動会等大きな行事や下校路の確認のための一斉下校の日を除く）
開設時間：各学期中の月曜日から金曜日は放課後～午後5時
学校休業日は午前8時30分～午後5時

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 37,214 42,780 33,526
事業費 千円 37,214 28,117 33,526
国費 千円 0 0 0
特定 千円 6,182 8,307 6,901
財源 千円 0 0 0
その他 千円 1,051 1,192 1,904
一般財源 千円 29,981 18,618 24,721
うち人員費合計 千円 15,543 14,663
活動配分 人 2,700 2,700
正職員 人 1,450 1,450
会計年度任用職員 人 1,250 1,250
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0

事業費の増減理由（令和 3年度から令和 4年度の変化について）
令和 3年度は、コロナ禍による開催日数及びプログラム数の減少の影響が大きかったため。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
企業・学校及び地域の協働による体験プログラムの実施

令和 4年度の実施内容
登録者数 登録率 開催日数 参加者数/日 プログラム
精道小学校 217人 34% 224日 17.8人 33回
宮川小学校 230人 37% 226日 22.9人 31回
山手小学校 199人 32% 225日 19.9人 29回
岩園小学校 189人 23% 227日 12.1人 29回
朝日ヶ丘小学校 104人 32% 228日 9.8人 27回
潮見小学校 192人 34% 229日 24.3人 35回
打出浜小学校 142人 31% 220日 15.3人 30回
浜風小学校 96人 33% 226日 10.5人 37回

令和 4年度の改善内容
オンラインプログラムの実施

現在認識している課題
コロナ禍によりいったん減少したプログラム数などの回復
持続可能な事業として、次世代の担い手の発掘・育成等

【事業の評価】

目的妥当性評価 事業実施に妥当性があるか
総合評価 法令等により市が実施しなければならない
目的妥当性評価 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
目的妥当性評価 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
有効性評価 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 改革終了/計画どおり実行中
有効性評価 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統合はできない
効率性評価 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できない
効率性評価 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
効率性評価 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価 負担を求めべき事業ではない

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
キッズスクエアの充実
地域等との連携、協働による新規プログラムの実施
オンライン等を利用した、各小学校相互のキッズスクエアの連携

今後の課題
コーディネーター及び地域スタッフによる体験プログラムの実施
地域スタッフによる持続可能な組織づくり
今後の取組・方向性
子どもの主体性を重んじた活動
各教室での特色のあるプログラム等の実施

総合評価
市内全8小学校において、地域・企業・高校・大学等との多様な連携、協働により事業を運営できている。今後も地域等との連携を更に深めていき、持続可能な事業として運営していく必要がある。
妥当性 義務的事業
達成度 概ね達成した
改善余地 ある程度改善の余地がある
今後の方向 現状維持

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content includes '青少年保護対策事業 (放課後児童クラブ)', '教育委員会教育部社会教育室青少年育成課', '010101020194', and '富田 泰起'.

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows for project details: 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分, 財源, 施設種別.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (対象, 意図, 大きな目的) and 全体概要 (芦屋市放課後児童クラブ details like location, hours, etc.).

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり, 1世帯当たり, 人口, 世帯数), 特記事項・備考.

事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について) 学級を1学級減らしたため。

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標 (登録児童数と施設数とのバランスを維持していくこと), 令和 4年度の実施内容 (市内8小学校で、17学級を開級...).

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容 (現在認識している課題), 令和 4年度の改善内容 (現在認識している課題).

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容 (現在認識している課題), 現在認識している課題.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価, 目的妥当性評価 (前期基本計画との整合性はあるか), 総合評価, 目的妥当性評価 (総合戦略の推進に貢献しているか), 総合評価, 有効性評価 (評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか), 総合評価, 有効性評価 (同じ目的を持つ他の事務事業はあるか), 総合評価, 効率性評価 (手段変更によって費用対効果をあげることができるか), 総合評価, 効率性評価 (成果を低下させずに、コストを削減できるか), 総合評価, 効率性評価 (受益者負担を求めることができる事業か), 総合評価.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容 (登録児童数と施設数とのバランスを維持していくこと...), 今後の課題 (登録児童数と施設数とのバランスを維持していくこと...), 今後の取組・方向性 (登録児童数と施設数とのバランスを維持していくこと...).

Table with 2 columns: (総合評価) 直営学級、委託学級ともに、保護者から一定の満足度を得ている。 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 放課後児童健全育成事業, 教育委員会教育部社会教育室青少年育成課, 010101024020, 富田 泰起.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市, 01 子育て・教育, 01 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している, etc.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象, 意図, 大きな目的, 児童福祉法 (昭和22年法律第164号) 第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業を行う者, etc.

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費, 国費, 県費, 財市債, etc.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容, 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes 更に効果的な補助金の交付, 対象事業所 (3か所) において、適正な運営を図った。* 芦屋市放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 198千円, etc.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価. Includes 事業実施に妥当性があるか, 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価, etc.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題, 今後の取組・方向性, (総合評価). Includes 更に効果的な補助金の交付, 待機児童が発生する可能性がある小学校区に偏りがあるため、より戦略的な事業実施が求められる。、民間の3事業所に対して補助金の交付を行った。引き続き、効果的な補助金の交付について検討する必要がある。、妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.

施策目標	1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策	1 仕事と子育てを両立できる環境整備を進めます

【主な施策】2 子どもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくり

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010101020308	青少年健全育成及び青少年団体育成事業	教育委員会教育部社会教育室青少年育成課	青少年、子ども会	青少年に対するイベント等を実施し、その活動の中で社会性、自主性を養い、健全に育成及び自立できるよう支援する。青少年団体や子ども会活動の支援を行い、青少年の自覚と責任の醸成を促す。	次世代を担う青少年の健全育成を図る。	10,131	7,406	青少年育成事業の活性化、子ども会活動の促進	子ども会連絡協議会への活動費の助成

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業番号, 担当所属, 担当課長名. Content includes '母子父子家庭児童育成事業と母子・父子自立支援員の設置' and '伊藤 浩一'.

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows: 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】, 【大きな目的】), 【全体概要】 (List of activities like 'ひとり親家庭の生活相談').

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり, 1世帯当たり), 事業費の内訳 (国費, 特定県費, 財市債, 源, うち経費).

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Content includes 'ひとり親家庭の継続的自立へつなげるよう、制度の周知に努めるとともに、就労支援や生活支援等を相談を通じて行っていく。'

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容 (Summary of activities and costs), 令和 4年度の改善内容 (Summary of improvements).

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容 (Detailed description of improvements and reasons).

Table with 2 columns: 現在認識している課題 (Summary of current issues).

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (Overall evaluation), 効果性評価 (Effectiveness evaluation). Includes sub-evaluations for appropriateness, efficiency, and cost reduction.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容 (Future goals and improvements), 今後の課題 (Future issues).

Table with 2 columns: (総合評価) (Overall evaluation), 今後の方向 (Future direction). Includes a small table for '適当性', '達成度', '改善余地', '今後の方向'.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 児童福祉対策事業, 児童福祉部, 010102020200, 久保田 あずさ.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 内容, 値. Includes 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象, 意図, 大きな目的, 全体概要 (子ども家庭総合支援室の設置, etc.).

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 合計, 事業費 (国費, 特定県費, etc.), うち人員費合計, うち経費.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
児童虐待受付件数増加による子ども家庭支援員の増員と子育て支援事業を拡充したため

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
子育て世代包括支援センターとの連携を強化し、より早い時期からの予防的支援・早期発見・早期対応に努め、こども家庭庁の創設に向けて市役所内での支援業務の整理と新たな体制の構築。社会的養護の推進。

令和 4年度の実施内容

令和4年度要保護児童対策地域協議会 活動状況
(1) 代表者会議
令和4年6月29日 ①協議会の概要及び構成員について ②前年度活動報告
③今年度活動方針 ④講演「社会的養護の推進について
(2) 実務者会議 (3回開催)
令和4年7月13日 令和4年11月14日 令和5年3月20日
ケース管理台帳による状況報告・確認・意見交換
主要機関実務者会議 (中学校区別3回開催)
令和4年8月19日 (山手中学校区、精進中学校区、潮見中学校区)
今年ケースの事例検討

令和 4年度の改善内容

里親によるショートステイの実施や、講演会の開催など、社会的養護について周知・啓発を実施した。

現在認識している課題

来年度に開設する「こども家庭・保健センター」についての、事業の整理、体制の構築

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価内容. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 前期基本計画との整合性, etc.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
こども家庭・保健センターの開設により、母子保健との一体的支援の実施、関係機関との更なる連携の強化に努める。

今後の課題
関係機関の職員を含め支援者側の資質の向上と理解を深められるよう、研修への参加を求め、機関間の連携を強められるよう日頃からの取り組みを強化し、虐待の未然防止に努めていく。
今後の取組・方向性
市民を含め地域への啓発及び関係機関の連携強化により、ネットワークでの支援を目指す。

Table with 2 columns: 総合評価, 評価内容. Includes 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with columns: 事務事業名 (母子保健事業), 事務事業番号 (010102030184), 担当所属 (こども福祉部こども家庭室こども家庭・保健センター(保健)), 担当課長名 (辻 彩)

【事務事業基本情報】

Table with columns: 戸屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分

【事業概要】

Table with columns: 事業概要 (【対象】 母子保健法に基づく対象市民, 【意図】 母子保健法に基づく対象市民に対して...), 【全体概要】 (□母子健康手帳の交付...)

【事務事業の経費】

Table with columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (注1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数), うち人員費合計, うち経費, 事業費の増減理由

【令和 4年度の実施内容】

Table with columns: 令和 4年度目標 (妊娠期の事業の充実を図るため...), 令和 4年度の実施内容 (□母子健康手帳の交付...)

Table with columns: 令和 4年度の実施内容 (続き) (□乳幼児育成指導...)

Table with columns: 令和 4年度の改善内容 (妊娠期から子育て期にかけての支援の充実をはかるため...)

Table with columns: 現在認識している課題 (国の方針に基づくだけでなく...)

【事業の評価】

Table with columns: 【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか, 【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか, 【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか, 【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか, 【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か

【今後の対応・方向性】

Table with columns: 令和 5年度の目標・改善内容 (こども家庭庁の創設に伴い...), 今後の課題 (関係機関、民間企業等との連携を図り...), 今後の取組・方向性 (児童福祉部門との連携・調整を図りながら...)

Table with columns: 【総合評価】 (妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援と一体的に実施する...), 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 育児支援家庭訪問事業, 子ども福祉部, 010102030199, 久保田 あずさ.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】, 【大きな目的】), 【全体概要】.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり, 1世帯当たり), 特記事項・備考.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
児童福祉措置費として計上していた子育てショートステイ事業を育児支援家庭訪問事業に統合したため。
利用対象を広げたため。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
子ども家庭支援員が、要保護児童対策地域協議会の関係機関と連携し、支援の必要な家庭の早期発見に努めるとともに、家庭に対する個別支援を積み重ねていく。

令和 4年度の実施内容

- ①育児支援家庭訪問事業
助産師派遣 44回
家事援助ヘルパー派遣 16回
②子育てショートステイ事業
年間延べ利用 7日

令和 4年度の改善内容

年々支援対象家庭数や重篤な事案が増加する中、コロナ禍による家庭環境の変化で更に家庭内の問題が深刻化しているため、保護者のレスパイトで利用する事業を拡充する。①ショートステイ受入先に里親を追加し年間利用日数の拡充。②調理や清掃など幅広い支援ニーズに対応する事業者を委託先に追加。

現在認識している課題

支援が必要な家庭ほど、サービス利用には拒否的であるため、日頃より信頼関係を構築し、サービスの継続的な利用に結びつける必要がある。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 総合評価, 効果性評価, 効率性評価, 今後の対応・方向性.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
子ども家庭・保健センターを開設し、関係機関との更なる連携により、支援の必要な家庭の早期発見に努めるとともに、要保護児童対策地域協議会で支援する要保護・要支援家庭については申請、利用料不要の新たなサービスを実施し、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐ。

今後の課題

幅広いニーズに対して支援が出来るように検討する必要がある。

今後の取組・方向性

支援が必要な家庭の把握のため、関係機関へ事業の周知等一層の連携に努める。

【総合評価】

Table with 2 columns: 他機関との連携など必要な支援が行われており有効な事業である。今後もネットワークでの支援に努めていく。 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (子育てセンター運営事業), 事務事業番号 (010102040197), 担当所属 (こども福祉部こども家庭室こども家庭・保健センター(こども)), 担当課長名 (廣瀬 香)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画 (事業期間, 根拠法令等, 実施区分, 財源, 施設種別)

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】 就学前の子どもとその保護者, 【意図】 就学前の子どもを持つ親の子育てに関する不安が解消される..., 【大きな目的】 乳幼児期における家庭での子育ての支援, 地域での子育て支援の充実), 【全体概要】 □子育て相談, □地域子育て支援拠点事業の実施, □なかよしひろば, カンガルークラブ, あそぼう会などの開催, □子育てグループの育成, □季節の行事や講演会, □子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り, 安心して子育て・子育てができる環境を整備し, 地域の子育て支援機能の充実を図る。

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (注民1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数), 合計, 事業費 (特 国費, 特 定 県費, 財 市債, 財 源 その他, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費)

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について) 地域子育て支援拠点(西藏こども園)の開設に向けて、施設の整備やふろさと寄附金を活用した大型玩具の設置を行ったため。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 ①参加したくなる子育て支援の企画を開催する。②親と子がより身近な場所で交流できる場を提供する。③子育て包括支援センターや子ども家庭総合支援室と連携し相互支援の充実と安全・安心の出産・子育て環境の整備を図る。

令和 4年度の実施内容 事業内容、実施回数・延べ人数 子育て相談 6,308人 つどいのひろば 「むくむく」192回 8,956人 「パンビ」191回 5,298人 「キオラクラブ」184回 1,005人 「ひとしお」241回 3,542人 なかよしひろば(2か所)95回 1,243人 「むくむく」の部屋貸出し 23回 158人 自主活動グループ 161回 1,671人

令和 4年度の改善内容 子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援室と連携し、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を実施することができた。

現在認識している課題 参加しにくい親子にも来てもらえるような工夫や、センターでは安心して遊ばせることができ、相談できる環境があることを更に周知し、効果的なセンターの運営が出来るようにする。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (現段階では市による実施が妥当である。地域での子育て支援のため、市による実施が妥当である。), 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価 (整合性はある。前期基本計画「1-2-4」と整合性がとれている。), 総合戦略の推進に貢献しているか, 総合評価 (貢献度が中程度。総合戦略「基本目標1:子育ての希望がかなう、1-2妊娠期から子育て期の切れ目ない支援」に貢献している。), 評価結果や計画立案された改革を確実に実行しているか, 総合評価 (改革終了/計画どおり実行中。地域子育て支援事業を適切に実施している。), 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか, 総合評価 (類似事業はない/統廃合はできない。類似事業はなく統廃合は出来ない。), 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 総合評価 (できない。地域での子育て支援という事業の性質上、費用対効果を求めるものではない。), 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 総合評価 (ある程度のコスト削減余地あり。人件費の部分においてわずかではあるがコスト削減の余地がある。), 受益者負担を求めることができる事業か, 総合評価 (負担を求めるべき事業ではない。地域での子育て支援という事業の性質上、受益者に負担を求めるべきではない。)

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容 こども家庭・保健センターを開設するにあたり、子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援室との一層の連携により、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を実施し、相談支援の充実と安全・安心の子育て環境の整備を図る。

今後の課題 子育てに関するあらゆる支援に繋がる場所でもあることから、支援が必要な家庭の発見と継続的な支援場所となることを支援者側にも広めていく必要がある。 今後の取組・方向性 子育て支援の場を活用し、相談・支援出来るよう職員の質の向上を図り、子育ての不安感・孤立感の解消に努める。

Table with 2 columns: (総合評価) 地域子育て支援拠点として十分にその役割を果たす有効な事業である。今後もより幅広く支援の場として活用出来るよう努めていく。 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (子育て支援事業), 事務事業番号 (010102040198), 担当所属 (こども福祉部こども家庭室こども家庭・保健センター(こども)), 担当課長名 (廣瀬 香)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画 (事業期間, 根拠法令等, 実施区分), 事業種別 (一般会計, 自治事務)

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】, 【大きな目的】), 【全体概要】 (□「あい・あいるーむ」の実施, □ファミリー・サポート・センターの設置, etc.)

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数, etc.)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 (関係機関との連携により、子育て支援内容を工夫する。)

令和 4年度の実施内容 (①ファミリー・サポート・センター事業 依頼会員830人、提供会員338人、両方会員42人 (令和5年3月) ファミリー・サポート・センター事業 9,004千円 ファミリー・サポート・センター事業利用助成 19千円 ②年齢期支援の開放事業 スタディールーム 延べ2,528人、ミュージックスタジオ 延べ25人 ③あい・あいるーむ 延べ157人)

令和 4年度の改善内容 (新型コロナウイルス感染症対策を講じながら各事業を実施した。)

現在認識している課題 (継続利用の方は多くになっているが、新規利用の方を更に増やしていくための工夫が必要である。)

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (現段階では市による実施が妥当である), 前期基本計画との整合性はあるか, 総合戦略の推進に貢献しているか, etc.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容 (こども家庭・保健センターとなり、センターの周知方法やそれぞれの事業の利用方法について見直し、より多くの方が利用出来るよう検討する。), 今後の課題 (現在の、安全・安心して利用していただける体制を維持しつつ、新しいセンターの活用を検討する。), 今後の取組・方向性 (幅広くセンターを利用いただけるよう、学生等の意見などを聞く機会を持ち、実施方法等を検討を行っていく。)

Table with 2 columns: 総合評価 (妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向), 総合評価 (妥当性: あり, 達成度: 概ね達成した, 改善余地: 改善余地がある, 今後の方向: 拡大・充実)

施策目標	1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策	2 子どもの命と健康が守られ、安心して子育てできる環境をつくります

【主な施策】 1 子育て家庭への経済的支援

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010102014048	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	こども福祉部こども家庭室こども政策課	低所得の子育て世帯	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。	新型コロナウイルス感染症による影響を受けて、真に生活に困っている低所得の子育て世帯への支援措置の強化	114,428	106,383	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金について、支給要件を満たす世帯には積極支給を行い、申請書の提出が必要な受給可能者には、申請漏れがないよう広報及び市ホームページ等を通じて広く周知する。	<input type="checkbox"/> ひとり親世帯分 479世帯 対象児童689人 支給総額34,450千円 <input type="checkbox"/> ひとり親世帯以外の子育て世帯分 744世帯 対象児童1,239人 支給総額61,950千円
010102010185	児童手当事業	こども福祉部こども家庭室こども政策課	中学校修了前の児童を養育している者（所得制限有）	当該家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を目的とする。	次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上	1,214,875	1,095,624	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正により、令和4年6月分から所得上限限度額を超える所得がある者は、児童手当の受給資格が喪失となること、また、現況届の提出が原則不要とされたため、制度改正の周知を広報及びホームページ等により制度の周知を行う。 ・出生や転入による新規申請漏れの防止についても引き続き広報及びホームページ等により制度の周知に努める。 	<input type="checkbox"/> 受給者数 6,690人 <input type="checkbox"/> 対象児童数 8,592人 <input type="checkbox"/> 決算額 1,086,478千円 <input type="checkbox"/> 支給額 1,079,910千円 <input type="checkbox"/> 消耗品、郵便料等 1,532千円 <input type="checkbox"/> システム保守、業務委託料 5,036千円
010102010236	母子父子家庭自立支援給付金事業	こども福祉部こども家庭室こども政策課	母子家庭の母又は父子家庭の父	母子家庭の母又は父子家庭の父の就業をより効果的に促進する。	母子家庭又は父子家庭の自立を支援する。	8,858	4,266	就労支援を通じて、制度の周知に努めるとともに、ハローワークと連携し、個々の状況にあった就労支援を総合的に行う。高等職業訓練促進給付金等事業においては、引き続き対象資格の拡大等周知を図っていく。	<input type="checkbox"/> 自立支援教育訓練給付金事業 0件 <input type="checkbox"/> 高等職業訓練促進給付金等事業 3件 2,474千円
010102010234	児童扶養手当制度	こども福祉部こども家庭室こども政策課	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある児童又は20歳未満の中等程度以上の障がいがある児童を監護している父又は母、若しくはその児童を養育している者。	当該家庭における生活の安定と自立を支援することを目的とする。	ひとり親家庭等の自立支援と生活支援	239,244	241,445	手当の円滑な支給に努めるとともに、受給者の生活の安定と自立に向け、母子・父子自立支援へ繋ぎ、就労支援を行う。現況届提出時に面談の中で十分に聞き取りを行い、他機関で実施している制度へも利用を繋げていく。	<input type="checkbox"/> 決算額内訳 <input checked="" type="checkbox"/> 支給人数 483人 <input checked="" type="checkbox"/> 決算額 234,313千円 <input checked="" type="checkbox"/> 支給額 229,728千円 <input checked="" type="checkbox"/> 消耗品、郵便料等 341千円 <input checked="" type="checkbox"/> システム保守、業務委託料 4,244千円

施策目標	1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策	2 子どもの命と健康が守られ、安心して子育てできる環境をつくります

【主な施策】 1 子育て家庭への経済的支援

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010102010186	交通遺児就学奨励金	こども福祉部こども家庭室こども政策課	交通遺児（小学校から高校までの就学児童）	交通遺児を激励するとともに、その健やかな育成と福祉の増進に寄与	交通遺児に対する健全育成	0	0	引き続き、児童扶養手当やひとり親家庭の相談時に、ひとり親になった原因の確認を行い、支給もれないよう努める。また広報やホームページ等で制度の周知に努める。	□支給決定者 0名
010102010235	児童福祉施設措置事業	こども福祉部こども家庭室こども政策課	施設入所を必要とする児童及び母	様々な理由により、施設入所を必要とする児童及び母を措置して保護を講じる。	児童及び母の支援	2,321	0	継続して、広報やホームページ等により制度の周知に努める。また家庭児童相談と母子父子相談との間で連携をとり、情報を共有することで、様々な方向から支援を行う。	□施設入所措置費 ・助産施設 0件 ・母子生活支援施設 0件 □施設入所等費用助成金 ・児童福祉施設入所 0件 ・障害児施設入所 0件
010102014044	子育て世帯臨時特別給付金支給事業	こども福祉部こども家庭室こども政策課	新型コロナウイルス感染症による影響を受けている子育て世帯	新型コロナウイルス感染症による影響を受けている子育て世帯に臨時特別給付金を支給する。	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、子育て世帯の生活を支援するため、国の支給基準に該当する子育て世帯に対し臨時特別給付金を支給する。	948,929	19,988	子育て世帯への臨時特別給付金について、令和3年3月31日までの期限内に、支給要件を満たす世帯には積極支給を行い、期限までに申請書の提出があった受給可能者には、審査した上で給付を行う。	□令和4年4月1日～令和4年5月31日支給 136世帯 対象児童180人 支給総額18,000千円
010102014023	大学等入学支援基金事業	教育委員会教育部教育統括室管理課	経済的理由により、大学等への入学が困難な場合	経済的理由により、大学等への入学が困難な場合に対して入学支援金を給付し、教育の機会均等を図る。	教育の機会均等の保障	6,250	7,233	経済的な理由により大学等へ入学が困難な者に受験料支援金及び入学支援金を支給する。	大学等入学支援基金積立金 1,358千円 大学等入学支度金 ・申請者数 1件（内訳）認定・給付 1件 ・給付実績 40千円 大学等受験料支援金 ・申請者数 21件（内訳）認定・給付 21件 ・給付実績 1,468千円 ・大学等の内訳 大学 47件

施策目標	1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策	2 子どもの命と健康が守られ、安心して子育てできる環境をつくります

【主な施策】 1 子育て家庭への経済的支援

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010102014065	子育て世帯物価高騰対策支援事業	こども福祉部こども家庭室こども政策課	基準日（令和4年8月31日）時点で芦屋市に住民票があり、次の①または②のいずれかにあてはまる人 ①令和4年9月分の児童手当（特例給付を含む）受給者②令和4年9月1日～令和5年2月28日生まれの新生児の児童手当（特例給付を含む）受給者で、新生児が出生した時点で芦屋市に住民票がある人	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、原油価格・物価高騰等の影響を受けている子育て世帯に対して、臨時特例的な給付措置として実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、原油価格・物価高騰等の影響を受けている子育て世帯に対して、臨時特例的な給付措置として実施する。	0	281,532	子育て世帯物価高騰対策支援金について、支給要件を満たす世帯には積極支給を行い、申請書の提出が必要な受給可能者には、申請漏れがないよう広報及び市ホームページ等を通じて広く周知する。	支給実績 5,904世帯 対象児童9,176人 支給総額275,280千円

施策目標	1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策	2 子どもの命と健康が守られ、安心して子育てできる環境をつくります

【主な施策】3 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援の充実

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010102031039	地域子育て支援事業	こども福祉部こども家庭室(ほいく課)	就学前の子ども及びその保護者	保育に関する施設や事業を円滑に利用できるよう、相談・助言等必要な支援を行うもの。	保育に関する施設や事業を円滑に利用できるよう、相談・助言等必要な支援を行うもの。	4,479	4,718	保護者に対して、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言等の情報提供を行う。	保育コンシェルジュ配置・・・1名
010102030119	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	こども福祉部こども家庭室こども家庭・保健センター(保健)	小児慢性特定疾患事業の対象疾患(日常生活用具給付のみ)	小児慢性特定疾患児の居宅における療養生活の支援を図る。	小児慢性特定疾患児の居宅における安定した療養生活の支援を図る。	0	0	対象者への円滑な給付	日常生活用具給付事業

施策目標	1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
基本施策	2 子どもの命と健康が守られ、安心して子育てできる環境をつくります

【主な施策】4 子育て世代間や多世代で交流を図り、情報を共有できる機会と場所の提供

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
010102040183	児童センター事業	市民生活部市民室上宮川文化センター	就学前乳幼児（0～3歳児）と保護者、小、中学生対象	幼児の感性と体力を育て、親子の結びつきと保護者間の交流を深める。児童の健全育成と仲間づくり及び基礎体力の向上を目指す。	健全な遊びをとおして、児童の健康を増進し、豊かな情操を育むことを目的とする。	28,368	26,240	児童センター事業の紹介をチラシやホームページだけでなく、動画等を取入れて、よりわかりやすい形での発信を目指す。	YouTubeに児童センター案内の動画を投稿したり、子育てアプリを活用して事業の案内を行っている。全事業で使用する遊具、道具等の消毒を毎回行いながら、事業を実施した。図書室の絵本を返却のたびに消毒作業等、感染対策を取りながら棚戻しを行った。

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 いじめ防止対策事業
事務事業番号 010201011034
担当所属 こども福祉部こども家庭室こども政策課
担当課長名 伊藤 浩一

【事務事業基本情報】

戸書の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策 01 1 子どもや若者の健全な成長を支えます
主な施策 01 1 社会的な問題に対する地域や家庭での取組の推進
事業期間 平成26年度 ~ 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務
根拠法令等 いじめ防止対策推進法(平成25年法律第71号)
実施区分 直営 財源 市 施設種別 庁舎

【事業概要】

事業概要
【対象】 市民(主に市立小中学生、その関係者)
【意図】 いじめを学校現場だけの問題とはせず、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、家庭・地域等との連携を基本的な視点とし、市全体でいじめ問題に取り組む体制を整え、市民に対して広く周知啓発を図る。
【大きな目的】 芦屋市で育つ小中学生がお互いの個性を認め合い、いじめのない快適で健やかな学校生活を送れるようにする。
【全体概要】 □芦屋市いじめ防止基本方針に基づき、教育委員会(学校)からいじめ問題の現状や取組内容について定期的に報告を受け、芦屋市いじめ問題対策連絡協議会で関係機関同士の連携体制を確認する。
□いじめについて特に問題が生じていない場合でも、学校現場での取組内容や現状等を把握し、いじめ問題についての理解を深めることができるよう、定期的に芦屋市いじめ防止対策推進本部会を開催する。
□いじめ問題を市全体の問題として市民が意識できるよう、いじめ防止の啓発を行う。
□重大ないじめの事案が起こった際には、学校の調査及び教育委員会の調査報告を受け、再調査の必要があれば第三者による調査が行える体制を整えて対応する。

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 8,067 9,839 226
事業費 千円 8,067 9,839 226
特 国費 千円 0 0 0
定 県費 千円 23 37 42
財 市債 千円 0 0 0
源 その他 千円 0 0 0
一般財源 千円 8,044 9,802 184
うち人件費合計 千円 8,000 9,693
活動配分 人 1,400 1,600
正職員 人 0,850 1,100
会計年度任用職員 人 0,550 0,500
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0
事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
■教育委員会及びその他関係組織と連携し、いじめ問題の連絡調整機関として情報共有を行う。
■いじめ防止基本方針に基づく取組として、小中学生及び市民に対するいじめ防止の更なる啓発に努める。

令和 4年度の実施内容
【主な実施内容】
■いじめ問題対策連絡協議会(1回) 36千円
■いじめ防止対策推進本部 幹事会・本部会(各1回)
■いじめ防止啓発事業「いじめ防止週間」の実施 72千円
・市内各校に、のぼり旗を設置・チラシ配布・ポスター掲示・小学1年生、中学1年生へのシール配布(10月)
■その他啓発
・芦屋市コミュニティ・スクール連絡協議会にチラシ配布
・子どもの権利条約パンフレット配布 38千円

令和 4年度の改善内容
■過年度中に完成したロゴマークを活用して事業を実施して啓発したため、実効性のある啓発を行うとともに、継続性のある事業を行った。

現在認識している課題
■いじめ問題対策連絡協議会をより実効性のあるものにするため、団体相互の連携や連絡調整の推進を図る。
■教育委員会及び学校との連携によるいじめ防止の啓発方法を検討する。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 法令等により市が実施しなければならない
いじめ防止対策推進法に基づき策定した芦屋市いじめ防止基本方針について、市が責任を持って実施していく必要がある。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
まちづくりの基本方針の目標の一つである、「子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育っている」という目標と整合している。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
「いじめ防止基本方針に基づいたいじめ防止の取組の徹底」という今後検討を進めていく主要な事業に該当している。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 改革終了/計画どおり実行中
芦屋市いじめ問題対策連絡協議会の運営、いじめ防止啓発につき継続して取り組んでいる。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統廃合はできない
いじめ問題への対応は市を挙げて実施する位置づけにあり、他事業との統廃合はできない。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できる
教育委員会、学校、関係機関との連携によるいじめ防止啓発の実施方法を工夫することにより、啓発効果を高めることができる。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
現段階で必要最低限の費用で実施しており、経費削減の余地はない。
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価 負担を求めるべき事業ではない
事業自体が特定の市民に利益をもたらす内容ではなく、負担を求められない。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
■平成30年3月に改定したいじめ防止基本方針を基に、教育委員会、学校、関係機関と連携を図り、いじめ防止啓発に取り組む。
■いじめ問題対策連絡協議会において、団体間の連携の推進及び連絡調整を重点的に行う。
■いじめ防止啓発事業の実施方法及び内容について、より実効性のある取組に向けて協議検討を行う。

今後の課題
■教育委員会芦屋市内の小中学校との更なる連携の強化
■いじめ防止の啓発方法の検討
今後の取組・方向性
■教育委員会、学校、関係機関のいじめ防止に係る取組を共有し、広く市民に啓発を行っていく。

【総合評価】
啓発事業については、過年度中に完成した「いじめ防止のロゴマーク」を活用してのぼり旗・チラシ・ポスター、シールを作成し、学校の協力も得て多くの小中学生に啓発を行った。今後も引き続き、ロゴマークを活用した効果的な啓発の検討が必要と考える。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 改善余地がある
今後の方向 拡大・充実

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 青少年愛護センター運営, 教育委員会教育部社会教育室青少年愛護センター, 010201010195, 富田 泰起.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 内容, 値. Includes 戸書の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象 (青少年), 意図 (青少年の非行防止...), 大きな目的 (青少年の健全育成...), 全体概要 (青少年愛護センター運営連絡会の開催...).

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, 源), うち人件費合計, 活動配分, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 実施内容. Values include 愛護センターの運営, 令和 4年度の実施内容.

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容, 令和 4年度の改善内容. Lists various activities and improvements.

Table with 2 columns: 現在認識している課題, 改善内容. Lists current issues and improvements.

Table with 2 columns: 現在認識している課題, 改善内容. Lists current issues and improvements.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価結果. Includes 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Lists goals and future issues.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Lists future issues and directions.

Table with 2 columns: 今後の取組・方向性, 今後の取組・方向性. Lists future directions.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include '子ども若者育成支援対策', '教育委員会教育部社会教育室青少年愛護センター', '010201020688', '富田 泰起'.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes '人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市' and '子育て・教育'.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes '【対象】子ども、若者（15歳～39歳の市民）' and '【全体概要】①すべての子ども、若者の健やかな成長を支援する。'.

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes '合計', '事業費', 'うち人件費合計'.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes '青少年育成対策事業' and '若者相談センター「アサガオ」の運営'.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes '芦屋市子ども・若者計画の評価方法を検討した。' and '芦屋市子ども・若者計画の適切な進行管理を行うために各課の自己評価の妥当性及び成果の検証を行う。'.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes '芦屋市子ども・若者計画の評価方法を検討した。' and '芦屋市子ども・若者計画の適切な進行管理を行うために各課の自己評価の妥当性及び成果の検証を行う。'.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes '芦屋市子ども・若者計画の評価方法を検討した。' and '芦屋市子ども・若者計画の適切な進行管理を行うために各課の自己評価の妥当性及び成果の検証を行う。'.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価. Includes '事業実施に妥当性があるか', '前期基本計画との整合性はあるか', '総合評価'.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Includes '若者相談センター「アサガオ」の活動の充実' and '「キ・テ・ミ・ル・会」や「親の会」などのピアサポートを継続して行う。'.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes '若者相談センター「アサガオ」の相談件数は、増加傾向にある。' and '不登校・ひきこもりの実態把握の一環として中学校卒業生の進路'.

Table with 2 columns: 総合評価, 評価項目. Includes '若者相談センター「アサガオ」や親の会を通して、若者の自立及び社会参加への支援を行うことができた。' and '妥当性', '達成度', '改善余地', '今後の方向'.

施策目標	2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策	1 子どもや若者の健全な成長を支えます

【主な施策】 1 社会的な問題に対する地域や家庭での取組の推進

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
010201010307	青少年問題協議 会経費	教育委員会教育 部社会教育室青 少年愛護セン ター	青少年	青少年の健全な育成を図るための総 合的施策の樹立と関係行政機関の連 絡調整	・青少年の指導、育成、保護、矯正 に関する総合的施策を樹立する。 ・総合的施策の適切な実施を期す るために関係行政機関相互の連絡調整 を図る。	5,903	8,426	青少年問題協議会の運営	<input type="checkbox"/> 青少年問題協議会 3回開催 第1回（7月21日） 第2回（1月26日、オンライン併用） 第3回（3月17日、オンライン併用） <input type="checkbox"/> 芦屋市第2期子ども・若者計画の推進 <input type="checkbox"/> 若者相談センター「アサガオ」の推進 <input type="checkbox"/> 情報教育、いじめ、不登校への取り組み

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 特別支援教育推進事業 事務事業番号 010202020259
担当所属 教育委員会教育部学校教育室保健安全・特別支援教育課 担当課長名 村上 洋子

【事務事業基本情報】

芦屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます
主な施策 02 1 インクルーシブ教育・保育システムの推進
課題別計画
事業期間 平成19年度 ~ 永年 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務
根拠法令等 学校教育法、障害者基本法、発達障害者支援法
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法)
医療的ケア児支援法
実施区分 直営、委託 財源 市 施設種別

【事業概要】

事業概要
【対象】 障がいのあるすべての幼児児童生徒、教職員
【全体概要】
□専門家による巡回相談を実施する
□特別支援教育専門指導員等を配置する
□障がいのある幼児児童生徒の就学及び教育的支援についての調査及び審議を行う教育支援委員会の開催する
□特別支援教育支援員・介助員・指導補助員を配置する
□医療的ケアに係る看護師の配置体制を整備する
□ケースワーカーの派遣を専門機関に委託する
□関係機関連携協議会を開催する
□教員の資質向上を図るため特別支援教育に関する研修会を開催する
□特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担当者を対象とした研修会を実施する
□特別支援学級の消耗品等の整備・充実を図る
□各学校の特別支援教育に係る研修活動の支援、予算執行、管理事務を行う

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 59,588 76,802 8,532
事業費 千円 59,588 76,802 8,532
特 国費 千円 2,858 3,110 5,425
定 県費 千円 0 0 0
財 市債 千円 0 0 0
源 その他 千円 0 0 0
一般財源 千円 56,730 73,692 3,107
うち人件費合計 千円 52,533 69,198
活動配分 人 15,430 19,560
正職員 人 1,050 1,610
会計年度任用職員 人 14,380 17,950
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0
事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)
人件費増

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
1 特別支援教育では、個別の指導計画に基づいた教育を進める。また、関係機関との連携の強化に努める。
2 インクルーシブ教育システム構築に向けて、全校園での取組体制を行う。
3 特別支援教育支援員を小中全校に配置し、個別の支援の充実を図る。

令和 4年度の実施内容

1 特別支援教育センター専門指導員による巡回指導、教育相談をし、支援の必要な幼児児童生徒やその保護者、教職員への個別の支援の充実を図る。(特別支援教育センター相談件数 240件)
2 特別支援教育コーディネーター会を開催し、合理的配慮や教育相談体制等の確認や情報共有を行い、支援内容の充実を図る。(コロナウイルス感染症対策のため今年度は1回の開催)
3 特別支援教育支援員等を学校園に配置し、特別な支援を要する幼児児童生徒を支援する。(特別支援教育支援員13名、介助員20名、幼稚園支援員7名、医療的ケア看護員2名(介助員を兼ねる) 指導補助員(ボランティア)10名)
4 ケースワーカーの派遣を専門機関に委託し、児童生徒又は教員の個別支援に関する助言等を行い、専門的知識及び資質の向上を図る。
<事業費内訳> 専門指導員・関連機関委員等報償費 2,987,288円
専門指導員・関連機関委員等旅費 300,613円
消耗品費等 1,232,964円
事業委託料 2,827,288円
校具器具費 200,290円
負担金 55,000円 施設機械借上料300円

令和 4年度の改善内容

1 個別の指導計画、個別の教育支援計画、個別の年間指導計画等に基づいた指導・支援の充実
2 芦屋市医療的ケアガイドラインに基づいた、医療的ケアが必要な児童の小学校での受け入れ体制の構築
3 他機関との連携体制の構築 (マニュアルの作成)

現在認識している課題

1 福祉・医療・就労等他機関とのさらなる連携
2 支援の必要な児童生徒に対しての支援内容や合理的配慮の充実

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 現段階では市による実施が妥当である
実施している内容は本市の教育活動の基盤となるものである。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
特別支援教育の推進・充実に大いに貢献している。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
特別支援教育の推進・充実に大いに貢献している。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 改革終了/計画どおり実行中
特別支援教育センターを中心として、個別の指導計画に基づいて個々の支援に取り組むことができた。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統合はできない
類似する事務事業がないため、統合や代替することはできない。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できない
手段・変更が不可能なため、費用対効果を上げることはできない。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
成果を低下させないために推進事業への支出は不可欠であり、現在の予算以下にはできない。
【効率性評価】 受益者負担を求められることができる事業か
総合評価 負担を求められるべき事業ではない
経費に係る内容について、受益者負担を行うことはできない。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
① 特別支援教育では、障がいのある子どもの発達段階や特性、教育的ニーズを十分に把握し、個別の指導計画に基づいた教育を進める。また、県立芦屋特別支援学校をはじめとする関係機関との連携の強化に努め、学校におけるインクルーシブ教育についての研究も積極的に進めていく。
② インクルーシブ教育システム構築に向けて全校園での取組体制を行う。
③ 特別支援教育支援員や介助員、医療的ケア看護員等を効果的に配置し、支援が必要な子どもが安心して学校園生活を送ることができるよう体制を整備する。
④ 福祉・医療・就労等の関係機関との連携を強化する。

今後の課題

① 個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別の年間指導計画に基づいた指導・支援の一層の充実
② 福祉・医療・就労等の関係機関との連携の強化
今後の取組・方向性
個々の状況やニーズに応じた教育を行えるような体制・環境整備の充実が必要である。また、特別支援教育に関わる教員の専門性のみならずすべての教職員の意識を高めていくような研修を行っていく必要がある。学校園だけでなく幼児児童生徒が課外の時間に通っている事業所とも連携を取り指導の方向性を共通確認していく。

【総合評価】

特別な支援が必要な幼児児童生徒が増加している中、個々のニーズも多様化している。関係機関との連携を強化し、今後も事業を充実させていく必要がある。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 ある程度改善の余地がある
今後の方向 拡大・充実

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content includes 市立保育所・認定こども園の運営業務, ことども福祉部ことども家庭室ほいく課, 010202030189, 田中 孝之.

【事務事業基本情報】

Table with multiple sections: 戸書の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (対象, 意図, 大きな目的), 全体概要 (保育の実施, 保育所運営に必要な一般事務).

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり, 1世帯当たり), 特記事項・備考.

事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)

民間移管により市立施設が減少したため。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標: 安定した保育行政を実施し、保育内容の充実に努める

令和 4年度の実施内容

Table with 6 columns: 名称, 定員, 保育年齢, 入所児童数, 延長保育, 一時預かり. Lists facilities like 精道こども園, 西蔵こども園, etc.

令和 4年度の改善内容

現在認識している課題: 保育の質の向上への取り組み

【事業の評価】

Table with 10 rows of evaluation items: 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価. Includes sub-evaluations like 総合評価, 整合性, 貢献度.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容: 安定した保育行政を実施し、保育内容の充実に努める。

今後の課題: 保育の質の向上への取り組み。 今後の取組・方向性: 安定した保育行政を実施し、保育内容の充実に努める。

Table with 2 columns: 総合評価 (妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向) and 評価内容 (あり, 概ね達成した, 改善の余地はない, 現状維持).

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 私立特定教育・保育施設等運営事業
事務事業番号 010202031041
担当所属 こども福祉部こども家庭室ほいく課
担当課長名 田中 孝之

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます
主な施策 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備
事業期間 平成27年度～
会計種別 一般会計
事業種別 自治事務
根拠法令等 児童福祉法、子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援法施行規則、芦屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例、芦屋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所運営費助成金交付規則、芦屋市延長保育事業実施要綱、芦屋市一時預かり事業実施要綱、芦屋市インクルーシブ教育・保育事業実施要綱等
実施区分 委託
財源 市、国、県等の補助、使用料など
施設種別

【事業概要】

事業概要
【対象】 保護者の就労や病氣などの理由で昼間に保育を必要とする乳・幼児(0歳から就学前までの児童)に対し教育・保育を行なう。
【全体概要】 私立特定教育・保育施設及び私立特定地域型保育事業に対して通常保育、一時預かり保育、延長保育、インクルーシブ教育・保育、医療的ケア児教育・保育の実施及び運営費を支給。
【意図】 入所児童の健全な保護育成と私立特定教育・保育施設及び私立特定地域型保育事業の円滑な運営
【大きな目的】 良質かつ適切な特定教育・保育を行ない、子どもの健やかな成長を目指す。

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 2,035,046 2,422,359 2,676,329
事業費 千円 2,035,046 2,422,359 2,676,329
特定 国費 千円 920,359 970,391 1,127,588
特定 県費 千円 426,024 433,512 524,964
財 財市債 千円 0 0 0
源 その他 千円 168,748 183,644 146,978
源 一般財源 千円 519,915 834,812 876,799
うち人件費合計 千円 36,562 43,628
活動配分 人 6,590 7,570
正職員 人 4,290 5,430
会計年度任用職員 人 2,300 2,140
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
打出保育所、大東保育所、いせ虹こども園、あいさいこども園の開園に伴い、増額となった。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
運営費の助成により安定した運営を目指すとともに、研修等により保育の質の向上に取り組む。

令和 4年度の実施内容
1. 私立特定教育・保育施設等に係る年間延べ児童数
定員…1,669人 入所児童数…15,270人 延長保育利用児童数…40,982人 一時預かり利用児童数…613人
2. 施設型給付費等の助成
・特定教育・保育施設等運営費 … 2,169,447千円 ・延長保育事業委託料 … 15,640千円
・一時預かり事業委託料 … 20,298千円 ・インクルーシブ教育・保育事業委託料 … 52,650千円
・医療的ケア児教育・保育支援事業委託料… 1,603千円 ・保育士等処遇改善臨時特例事業補助金 … 30,933千円
3. 実費徴収に係る補足給付事業 補助額…1,056千円
4. 幼保無償化に係る認可外保育施設等への補助 補助額…61,986千円

令和 4年度の改善内容

現在認識している課題
継続して保育内容の充実に取り組む必要がある。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 法令等により市が実施しなければならない
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 改革終了/計画どおり実行中
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統合はできない
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できない
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価 適正な負担を求めている

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
運営費の助成により安定した運営を目指すとともに、研修等により保育の質の向上に取り組む。

今後の課題
継続して保育内容の充実に取り組む必要がある。
今後の取組・方向性
運営費の助成により安定した運営を目指すとともに、研修会等により保育の質の向上に取り組む。

【総合評価】
運営費の支給・助成は私立特定教育・保育施設等の安定した運営に有効であり、各種研修は保育の質の向上に寄与することができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止や物価高騰対策支援のため、補助金の支給等を行ったことは評価できる。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 改善の余地はない
今後の方向 現状維持

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (International Understanding Education Promotion Project), 事務事業番号 (010202030262), 担当所属 (Education Committee), 担当課長名 (Hirai Masahiro)

【事務事業基本情報】
Table with 2 columns: 総合計画 (Strategy, Objectives, Main Policies), 課題別計画 (Project Period, Accounting Type, Business Type, Root Law, Implementation Area, Funding Source, Facility Type)

【事業概要】
Table with 2 columns: 【対象】 (Children and staff), 【意図】 (Promote foreign language education, improve international society), 【大きな目的】 (Society/economy globalization, respect for diversity)

【事務事業の経費】
Table with columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes sub-tables for 事業費 (Total, Special, Local, Financial, Other) and うち経費 (Personnel, Activity, Salary, Other).

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
1 小学校における教科書に沿った授業と評価の研究
2 中学校における学習指導要領に沿った評価の研究
3 日本語指導が必要な児童生徒に対する支援の在り方

令和 4年度の実施内容
1 小学校外国語 (活動) 実施時間数 3・4年生年間35時間 5・6年生年間70時間
2 小学校ALT配置 5・6年生年間35時間 1・2年生年間10時間
3 中学校ALT配置日数 年間176日×2名÷3校=1校あたり年間約117日
4 小学校外国語活動アンケート集約結果
(1) 積極的に英語を話そうとした児童の割合81.9% (2) これからも英語を使ってみたいと思う児童の割合87.5%
5 英語スピーチコンテスト 12人
6 就学前、1・2年生において「英語であそぼう」を実施 1,406人
7 日本語指導ボランティアを9校に9人配置。9か国にルーツのある児童生徒 (中国、フィリピン、韓国、スペイン、イラン、ロシア、タイ、モンゴル、ニュージーランド)
8 初期日本語指導教室 児童10人

令和 4年度の改善内容
1 小学校における外国語の教科化に向けた授業力の向上
2 評価についての研究
3 初期日本語指導教室の運営

現在認識している課題
1 小学校における教科書に沿った授業と評価の研究
2 中学校における学習指導要領に沿った評価の研究
3 日本語指導が必要な児童生徒に対する支援の在り方

【事業の評価】
【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 法令等により市が実施しなければならない
公立学校の授業の一環である。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
計画に位置付けられている。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
重要施策に大きく貢献する。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 概ね実行している
効果を見直し、次年度の計画に反映させている。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業があり、統合/代替が検討できる
事業内容を分割すれば、他の事務事業と統合できる。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できない
目的を達成させるための他の手段がない。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
コストに対して効果が大きい。
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価 負担を求めるべき事業ではない
公立学校の授業の一環である。

【今後の対応・方向性】
令和 5年度の目標・改善内容
1 小学校におけるALITや地域人材と連携した授業と指導方法の研究
2 中学校における異文化や国際社会への興味関心を広げる機会
3 日本語指導が必要な児童生徒に対する支援の在り方
今後の課題
小学校外国語担当者をを中心に、評価や実践について各校の取組を外国語について、指導・支援方法等を小中連携しながら、研究や研交流し、研究を進める。夏休みの中学生の国内留学体験事業を見直し、多くの生徒が国際交流の機会を持つ工夫。編入生の増加に伴い初期日本語指導教室の指導体制等の課題について検討する。
今後の取組・方向性
外国語について、指導・支援方法等を小中連携しながら、研究や研交流し、研究を進める。中学校では、タブレットを活用したオンライン国際交流を進める。日本語指導について、継続して支援の在り方を探る。(多言語翻訳アプリの導入と検証、新設初期日本語指導教室の運営など)

【総合評価】
外国にルーツのある児童生徒と相互に学び合い、国際社会への視野を広げていく。国内留学体験やオンラインを活用した取組も成果としていえる。引き続き、「学習内容の習得」「日本語の獲得」「母語の保障」の3点について、指導・支援体制の充実を図る必要がある。
表: 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content includes '就学前教育推進事業', '教育委員会教育部学校教育室保健安全・特別支援教育課', '010202030275', '村上 洋子'.

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows: 戸籍の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes details about the target group (children, staff), objectives, and implementation methods.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes sub-totals for 'うち人件費合計' and 'うち経費'.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)

園児数減による人件費減のため

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Lists goals and implementation details for the fiscal year.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Lists improvement points and current issues.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Lists improvement points and current issues.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Lists improvement points and current issues.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 総合評価. Evaluates the project's effectiveness and overall performance.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Lists goals for the next year and future challenges.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Lists future challenges and corresponding actions.

Table with 2 columns: 総合評価, 事業の概要. Provides an overall evaluation and project overview.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 学力向上支援事業 事務事業番号 010202030260 担当所属 教育委員会教育部学校教育室学校教育課 担当課長名 尾上 昌希

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市 総合計画 施策分野 01 子育て・教育 施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている 基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます 主な施策 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備 事業期間 ~ 永年 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務 根拠法令等 学校教育法 実施区分 直営 財源 市 施設種別

【事業概要】

事業概要 【対象】 児童生徒 【意図】 児童生徒が、学習指導要領の内容を理解し、基礎基本となる学力を身に付け、主体的・対話的で深い学びを実現する。 【大きな目的】 基礎基本の学力の定着と問題解決的な資質能力向上を図る。 【全体概要】 □ 小中学校において「学力向上パワーアッププラン」を実践する。 □ 「学力向上支援プラン」研究校を指定し、研究の成果を公開、普及する。 □ チューター（学習指導員）を、全小中学校に1名配置する。 □ 観察・実験の支援等、理科授業の充実を図るために小学校に理科推進員を配置する。 □ 全国学力・学習状況調査を小学校第6学年、中学校第3学年に実施する。 □ 2年間の小中連携推進校の取組を踏まえ、中学校区毎に小中連携研究を推進する。 □ 兵庫型学習システムの推進による教科指導の充実

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算 令和 4年度決算について 合計 千円 49,508 43,932 2,092 住民1人当たり(円) 469.38 事業費 千円 49,508 43,932 2,092 1世帯当たり(円) 1,031.19 特 国費 千円 408 353 410 人口 93,596 定 県費 千円 0 0 0 世帯数 42,603 財 市債 千円 0 0 0 令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より 源 その他 千円 0 0 0 一般財源 千円 49,100 43,579 1,682 特記事項・備考 うち人件費合計 千円 47,577 42,262 活動配分 人 10,080 9,410 正職員 人 1,250 0,560 会計年度任用職員 人 8,830 8,850 うち経費 千円 0 0 減価償却費 千円 0 0 他部門経費 千円 0 0 事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 ①小中学校で「学力向上パワーアッププラン」、指定研究校で「学力向上支援プラン」を実施し、授業改善に向けた研究の成果を公開する。②中学校合同授業研究会の授業研究発表会に小学校の教員が参加し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業のあり方や児童生徒への指導について小中で連携を深め、学力向上を図る。

令和 4年度の実施内容

- 1 中学校合同授業研究会の実施(学力向上支援プラン指定校 9月29日) 2 学力向上支援プラン指定校研究の実施(打出浜小学校、山手小学校、湖見小学校) 3 チューターを全小中学校に配置し、算数・数学への学習意欲の向上を図った。 4 理科推進員を小学校へ配置し、理科の実験・観察の充実を図った。 【事業費】 1 学力向上研究謝金 547千円 2 学力向上研究支援資料代58千円 3 チューター報酬・交通費21,939千円 4 小学校理科教育推進事業費(理科推進員報償費)1,065千円

令和 4年度の改善内容

中学校合同授業研究会ならびに学力向上支援プラン指定小学校研究発表会については、新型コロナウイルス感染防止策を講じながら、オンラインでの研修も取り入れるなど状況に応じて方法を協議して実施した。

現在認識している課題

児童生徒の主体性や学習意欲の低下

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか 総合評価 現段階では市による実施が妥当である 他に適切な実施者はいない。 【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか 総合評価 整合性はある 計画と整合性がある。 【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか 総合評価 貢献度が大きい 学力の向上という面で貢献している。 【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか 総合評価 概ね実行している 毎年意見交換を行い、改善が見られる。 【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか 総合評価 類似事業はない/統合はできない 他の事業では同じ効果が得られない。 【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか 総合評価 できない 現行の方法が極めて効果が高い。 【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか 総合評価 コスト削減の余地はない コストを下げると配置頻度が下がり、効果が低下する。 【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か 総合評価 負担を求めるべき事業ではない 義務教育段階の授業と一体で行っているため、求められない。

【今後の対応・方向性】

- 令和 5年度の目標・改善内容 1 全国学力・学習状況調査の結果検証と指導改善の取組 2 9年間の学びを意識した小中連携の推進 3 「学力向上パワーアッププラン」及び「学力向上支援プラン」の実施により学力向上につながる。 4 ICTの利活用も含めて研究指定校の実践研究成果を公開、普及する。

今後の課題

- 1 小中で連携した学力向上にむけた取組 2 ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の促進 3 児童生徒の学習意欲や主体性の向上

今後の取組・方向性

1. 学力向上支援プランの実施により小中連携を推進。2. 「学力向上パワーアッププラン」等、公開授業を実施し研究成果を共有する。3. ICTを効果的に活用した授業研究と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の促進。4. チューター・理科推進員を継続配置し、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図る。

【総合評価】

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICTの効果的な活用を取り入れた授業改善を校内外でも協働的に進める。また、学習指導員(チューター)や理科推進員を個に応じたきめ細やかな指導の充実に活用する。 妥当性 あり 達成度 達成した 改善余地 ある程度改善の余地がある 今後の方向 拡大・充実

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with columns: 事務事業名 (読書活動推進事業), 事務事業番号 (010202030670), 担当所属 (教育委員会教育部学校教育室学校教育課), 担当課長名 (尾上 昌希)

【事務事業基本情報】

Table with columns: 戸屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間 (～ 永年), 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 根拠法令等 (学校教育法 学習指導要領), 実施区分 (直営), 財源 (市), 施設種別

【事業概要】

Table with columns: 事業概要 (【対象】 幼児児童生徒および市民... 【意図】 幼児児童生徒が、継続的に読書に取り組み... 【大きな目的】 「子どもの読書の街づくり推進事業」の成果と課題を踏まえ... 【全体概要】 □読書活動の充実に継続的に取り組み... □学校図書館の環境整備を進め... □学校司書補助員及び学校図書館担当者の連携を深め... □市立図書館と連携した教育活動を推進する... □就学前施設の子どもたちが小学校の図書館を利用することで...)

【事務事業の経費】

Table with columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, 財市債, 財市債, 財市債, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費), 事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
1 読書スタンパリー等の実施を通して、読書活動の研究・啓発を推進する。 2 学校図書館を活用した授業の研究を推進する。 3 市立図書館との連携をさらに図る。 4 就学前施設の幼児の学校図書館利用を進める。 5 学校において子どもたちが読書活動した成果を発表する機会を設定する

令和 4年度の実施内容

1 「読書スタンパリー」等の配布及び春の読書月間及び秋の読書週間に芦屋市内全就学前施設及び全小中学校へのチラシ配布と市内掲示板への啓発ポスター掲示 2 読書推進モデル校指定 (3校) 3 担当者及び図書館司書補助員合同協議会3回実施 4 芦屋市立小中学校による読書活動紹介展示

【事業費】 (1) 報償費60千円 (2) 消耗品費127千円 (3) 印刷製本費138千円 (4) 図書費14,704千円

【小中学校における年間貸出し冊数】 児童生徒一人当たり小学校98.8冊 中学校14.9冊

令和 4年度の改善内容

1 人とのつながりを深める読書活動の充実
2 計画的、継続的な学校図書館の活用
3 学校図書館における環境整備

現在認識している課題

新学習指導要領実施に伴う学習における学校図書館の活用及び読書活動の推進
就学前施設の子どもの小学校図書館利用の定着化

【事業の評価】

Table with columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (現段階では市による実施が妥当である), 読書活動推進は芦屋の教育の柱の一つである, 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価 (整合性はある), 学力向上や心の教育等において整合している, 総合戦略の推進に貢献しているか, 総合評価 (貢献度が大きい), 子どもの心の教育や学力向上に大きく関わっている, 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 総合評価 (概ね実行している), 読書活動推進事業の周知のために、研修会で周知した, 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか, 総合評価 (類似事業があり、統合/代替が検討できる), 義務教育運営等との統合を検討する必要がある, 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 総合評価 (できない), 他に取れる手段はない, 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 総合評価 (コスト削減の余地はない), 児童生徒への教育を充実させるために、現在の予算は最低限である, 受益者負担を求めることができる事業か, 総合評価 (負担を求めるべき事業ではない), 教育の機会均等を図る上で、市が責任を持って行うものである

【今後の対応・方向性】

Table with columns: 令和 5年度の目標・改善内容 (学校図書館を活用した授業の推進及び読書活動の充実に向けた取組, 市立図書館との連携, 地域ボランティアと連携した読書活動の推進, 就学前施設の子どもの小学校図書館の利用推進, 子どもたちが読書に親しんだ成果を発表する機会の設定)

Table with columns: 今後の課題 (読書活動推進事業の周知と取組の徹底, 就学前施設の子どもたちも含めた学校図書館利用の促進), 今後の取組・方向性 (1 学校図書館を活用した読書活動の推進, 2 就学前施設の子どもたちへの学校図書館利用促進, 3 学校図書館の活用促進のための担当者及び司書補助員への研修, 4 学校における読書活動の成果の発表方法の研究)

Table with columns: 総合評価 (計画的・継続的な学校図書館の活用及び読書活動の取組みを推進し、電子図書の活用も含め公立図書館との連携を継続して行う。また、就学前の子どもたちにも学校図書館を定期的に利用できるよう取組んでいく。), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (人権教育推進事業), 事務事業番号 (010202030264), 担当所属 (教育委員会教育部学校教室学校支援課), 担当課長名 (坪井 政人)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間 (～ 永年), 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 根拠法令等 (学校教育法, 教育基本法, 児童の権利に関する条約), 実施区分 (直営), 財源 (市), 施設種別

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】 幼児児童生徒及び教職員, 【意図】 学校園・家庭・地域社会が一体となって心の教育の充実を図る, 【大きな目的】 推進体制の整備・充実を図る, 確かな人権感覚を育てる, 人権尊重の学校園文化を育てる, 子ども多文化共生教育を推進する), 【全体概要】 人権教育の推進, 人権教育担当者の企画・開催, 年間指導計画・報告書の作成, 加配教員配置校への調査・指導・助言, 研修会の参加調整, 人権教育資料「ふれあい」の作成, 男女共同参画の推進, 調査研究委託事業の実施, 関係諸機関との連携, 芦屋市人権教育推進協議会への参加

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数), 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, 財市債, 財市債, 財市債, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費), 事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
各学校において、全体計画及び年間指導計画を整備し、その計画に沿った実践を深める。若手教職員を中心とした人権意識の向上を目指した研修会を実施する。

令和 4年度の実施内容
・人権教育担当者の企画・開催(4月)
・全幼小中学校園人権教育の全体計画と年間指導計画、報告書の作成
・人権教育資料「ふれあい」の作成・配布
・加配教員配置校への調査・指導・助言
・男女共同参画、性的マイノリティについての理解促進
・関係諸機関との連携
・芦屋市人権教育推進協議会への参加

令和 4年度の改善内容
教職員の人権意識や指導力の向上を目指して、各学校園で実態に応じた課題を設定し、研鑽に励んだ。

現在認識している課題
性的マイノリティ等の今日的な人権課題に対する理解を深める教職員研修の充実

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (現段階では市による実施が妥当である), 前期基本計画との整合性はあるか, 前期基本計画との整合性はある, 総合評価 (整合性はあり、計画と整合性が十分ある), 総合戦略の推進に貢献しているか, 貢献度が中程度, 「人権意識」の育成という面で貢献している, 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 概ね実行している, 毎学期、実施状況調査を行い改善が見られる, 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか, 類似事業はない/統廃合はできない, 効率性評価 (手段変更によって費用対効果をあげることができるか), できない, 現行の方法が効果が高い, 効率性評価 (成果を低下させずに、コストを削減できるか), コスト削減の余地はない, コスト削減すると、各校にあわせた研修会等が実施できなくなり効果が低下する, 受益者負担を求められることができる事業か, 負担を求められるべき事業ではない, 学校教育の一環である

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
各学校において、全体計画及び年間指導計画を整備し、その計画に沿った実践を深める。若手教職員を中心とした人権意識の向上を目指した研修会を実施する。

Table with 2 columns: 今後の課題 (性的マイノリティ等の今日的な人権課題に関する教育の充実, 各学校の人権教育内容に関する情報共有), 今後の取組・方向性 (性的マイノリティ等の今日的な人権課題に関する教育の推進, 各学校の人権教育内容に関する情報共有)

Table with 2 columns: 総合評価 (LGBTQ等の性的マイノリティや今日的な人権課題に対しては、引き続き理解を深めるための研修に取り組んでいく必要がある), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include カウンセリングセンター管理運営事業, 教育委員会教育部学校教育室学校支援課, 010202030257, 坪井 政人.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市, 01 子育て・教育, 02 未来への道を切り拓く力が育っている, 02 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます, 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 【全体概要】. Includes 【対象】 児童生徒、教職員及び保護者, 【意図】 年間相談件数300件程度への対応, 【大きな目的】 教育相談によって児童生徒の健全育成に資すること.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費, 国費, 特定県費, 財市債, 源その他, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 1 他の相談機関との整理、統合も視野に入れて連携の充実を目指す。 2 教育相談事業の更なる啓発に努め、相談業務の質と量の充実を図る。

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容, 1 相談実績 (電話相談) H31 111件 R2 87件 R3 133件 R4 68件. Includes (1) 電話相談内容, (2) 相談対象者, (3) 相談者, (4) 相談件数.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 1 令和3年度相談機関体制組織を再編し、その後も定期的に情報交換を行い、連携を深めた。 2 突発的な事案に対し、学校教育課、適応教室、県立西宮子ども家庭センター、学校等と連携を取りながら進めることができた。

Table with 2 columns: 現在認識している課題, 1 カウンセリングセンターと学校が必要に応じて連携しながら、子どもの支援にあたるための具体的な方法の研究。 2 カウンセリングセンターでの教育相談の促進（周知）に向けた継続した取組の必要性。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか, 【総合評価】 現段階では市による実施が妥当である. Includes 【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか, 【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか, 【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか, 【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 幼児児童生徒の健全育成及び保護者、教師のカウンセリングを行い、心身の安定を図る。 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 1 他機関との連携の強化, 2 学校と必要に応じて連携しながら子どもの支援にあたる体制の確立, 3 カウンセリングセンターの教育相談の利用の促進に向けた継続した取組。

Table with 2 columns: 【総合評価】, 相談内容が多様化し、継続して対応しているケースもある。学校支援課を窓口にしながらカウンセリングセンターとの連携を引き続き図っていく必要がある。 Includes 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 適応教室実施事業 事務事業番号 010202030266 担当所属 教育委員会教育部学校教育室学校支援課 担当課長名 坪井 政人

【事務事業基本情報】

戸屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市 総合計画 施策分野 01 子育て・教育 施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている 基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます 主な施策 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備 課題別計画 事業期間 平成10年度 ~ 永年 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務 根拠法令等 学校教育法 実施区分 直営 財源 市 施設種別

【事業概要】

事業概要 【対象】 不登校及び不登校傾向の児童生徒、教職員 【全体概要】 □通級児童生徒への指導（基本的生活習慣の育成、学習活動、体験活動等） □引きこもり傾向の児童生徒の家庭訪問指導 □市内在住の不登校および不登校傾向児童生徒の保護者の教育相談 □戸屋市立小中学校との連携及び不登校研修会の開催 □関係諸機関との連携 □市指定の研究部会による研究推進 【意図】 不登校及び不登校傾向の児童生徒が、指導及び援助により、学校生活への意欲を育てる。 【大きな目的】 不登校及び不登校傾向の児童生徒が、学校復帰及び社会的自立ができるよう支援する。

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算 令和 4年度決算について 合計 千円 12,242 14,053 3,659 住民1人当たり(円) 150.15 事業費 千円 12,242 14,053 3,659 1世帯当たり(円) 329.86 特 国費 千円 0 0 0 人口 93,596 定 県費 千円 0 0 0 世帯数 42,603 財 市債 千円 0 0 0 令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人会)より 源 その他 千円 0 0 0 一般財源 千円 12,242 14,053 3,659 特記事項・備考 うち人件費合計 千円 11,921 13,596 活動配分 人 3,100 3,310 正職員 人 0,300 0,510 会計年度任用職員 人 2,800 2,800 うち経費 千円 0 0 減価償却費 千円 0 0 他部門経費 千円 0 0 事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 1 通級児童生徒の学習・体験活動での個に応じた指導及び援助を行うことにより、学校復帰及び社会的自立へつないでいく。 2 学校・関係機関との連携を強化し、情報の共有を図ることにより、学校復帰及び社会的自立への環境整備等を行う。 3 不登校児童生徒対応の中核的機関として、児童生徒、保護者、教員の相談機関としての機能を充実させる。

令和 4年度の実施内容

1 主な事業 (1)不登校担当会の開催(2回:6、11月実施)(2)不登校児童生徒の理解のための支援研修会の開催(1回:11月実施)(3)教育相談(個人懇談)会(3回:4月・7月・12月実施)(4)学校等への訪問(市内小中学校11校、県立西宮香風高等学校等)(5)体験活動の実施(校外学習等)(6)他機関との連携等

2 事業内訳

(1)教育指導・家庭訪問指導員、講師等への報酬費(154千円)(2)宿泊体験学習などの旅費(114千円)(3)消耗品・印刷製本費等の需用費(154千円)(4)手数料、保険料等の役務費(6千円)(5)高速道路通行料、複写機使用料等の使用料及び賃借料(24千円)(6)全国適応教室連絡協議会年会費(5千円) 合計457千円

令和 4年度の改善内容

1 適応教室に籍児童生徒の通級意欲向上の取組 2 適応教室に繋がっていない不登校児童生徒へのアプローチ 3 学校復帰及び社会的自立への取組 4 進路指導

現在認識している課題

1 適応教室に繋がっていない不登校児童生徒への支援 2 ひきこもりから通級、適応教室での指導、学校復帰及び社会的自立へとつながる段階的な支援内容の工夫 3 学校や関係機関との密な連携

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか

総合評価 現段階では市による実施が妥当である 戸屋市立学校へ通学している児童生徒が対象のため、連携がしやすい。

【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか

総合評価 整合性はある

活動プログラムを児童生徒の実態に合わせて、個別活動・集団活動に分けて作成している。

【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか

総合評価 貢献度が大きい

不登校児童生徒の学力向上に努めている。また、子どもたちの命や人権を大切にす心の教育や様々な体験活動も行った。

【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか

総合評価 概ね実行している

学校訪問を行うなど各学校と連携し、それぞれの児童生徒に対し、状況に応じ、学校復帰や社会的自立につながる力の育成に向けたプロ

【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか

総合評価 類似事業はない/統廃合はできない

適応教室は戸屋市内で1カ所であり、統廃合はできない。

【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか

総合評価 できない

指導員の人数について、いつ不登校児童生徒が通級してきても対応できる現在の運営方法が適切である。

【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか

総合評価 コスト削減の余地はない

現在の運営方法が適切である。

【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か

総合評価 負担を求めべき事業ではない

経済状況に関わらず、全ての不登校児童生徒が通級できる施設であるため、負担を求めず運営すべきである。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容

・関係機関や他市の効果的な不登校支援方法を研究し、適応教室の指導内容の充実を図る。

今後の課題

1 適応教室の指導内容の充実を図る。 2 他機関との連携をさらに強化する。 3 市内の不登校状況について、迅速に正確な情報を集め、対応する。 4 指導方法や児童生徒についての情報の共有と統一化を行う。

今後の取組・方向性

1 市内の不登校状況について、学校訪問やケース会議等に参加することで、早期の実態把握を行い対応する。また、不登校相談を充実させ、児童生徒、保護者、教員に具体的な助言を行う。 2 SCやSSW、カウンセリングセンター等関係機関と連携し、各校や適応教室での不登校児童生徒への指導内容の充実を図る。

【総合評価】

適応教室に通級している児童生徒を、学校復帰及び社会的自立へどうつないでいくかを今後も研究していく必要がある。適応教室以外の関係機関との連携を図りながら、今後も取組を充実させていく必要がある。 妥当性 あり 達成度 概ね達成した 改善余地 ある程度改善の余地がある 今後の方向 拡大・充実

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 生徒指導対策事業 事務事業番号 010202030281 担当所属 教育委員会教育部学校教育室学校支援課 担当課長名 坪井 政人

【事務事業基本情報】

戸籍の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市 総合計画 施策分野 01 子育て・教育 施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている 基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます 主な施策 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備 課題別計画 事業期間 昭和40年度 ~ 永年 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務 根拠法令等 学校教育法 実施区分 直営 財源 市 施設種別

【事業概要】

事業概要 【対象】 児童生徒 【全体概要】 □芦屋市生徒指導連絡協議会の開催をする □生徒指導担当を中心に問題行動の事前指導と事後指導をする □生徒指導担当を中心に問題行動時に家庭訪問する □生徒指導担当を中心に登下校指導や巡回指導する □近隣校や保護者、地域、関係機関との連携をする □不登校児童生徒の登校の促進に関わる対応 □生徒指導上の問題行動解決、課題解決のための対応 【意図】 児童生徒が問題行動を起こすことなく、健全に成長する。 【大きな目的】 青少年健全育成

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算 令和 4年度決算について 合計 千円 10,906 18,879 621 住民1人当たり(円) 201.71 事業費 千円 10,906 18,879 621 1世帯当たり(円) 443.14 特 国費 千円 0 0 0 人口 93,596 定 県費 千円 927 936 983 世帯数 42,603 財 市債 千円 0 0 0 令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より 源 その他 千円 0 0 0 一般財源 千円 9,979 17,943 -362 特記事項・備考 うち人件費合計 千円 10,455 12,344 活動配分 人 1,920 2,330 正職員 人 0,700 0,800 会計年度任用職員 人 1,220 1,530 うち経費 千円 0 0 減価償却費 千円 0 0 他部門経費 千円 0 0

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)

いじめ重大事態に係る第三者委員会設置により委員報酬・旅費等が増額

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 いじめ防止基本方針に基づき、いじめ等の問題行動の未然防止に努める。スクールカウンセラー等を活用し、教育相談を充実させる。スクールソーシャルワーカーを配置し複雑化多様化した課題に対応する。中学校区内の小中学校の連携及び近隣学校、保護者、地域、関係機関との連携を図る。児童生徒及び保護者との心のふれあいを通してきずなを深める。

令和 4年度の実施内容

- 1 芦屋市生徒指導連絡協議会の実施 11回実施 2 問題行動件数 ① 小学校 117件 ② 中学校 403件 3 いじめの認知件数 ① 小学校 1728件 ② 中学校 175件 【事業内訳】 ・委員報酬5471千円 ・講師謝金64千円 ・委員旅費263千円 ・食糧費7千円 ・委託料730千円

令和 4年度の改善内容

- ・生徒指導事業に対して、共通理解をし、関係機関と密に連携した。 ・生徒指導に係るケース会議等を実施した。 ・生徒指導に関して、小中連携を促進した。

現在認識している課題

- ・いじめの未然防止、早期発見、早期の適切な対応。 ・小中連携を通して、一貫性のある生徒指導体制づくり。 ・教職員、児童生徒、保護者間の信頼関係づくり。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか 総合評価 現段階では市による実施が妥当である いじめや問題行動等については、小中学校の教員が対応するため、地方自治体での実施が必要である。 【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか 総合評価 整合性はある いじめ問題等については、重要施策に位置付けられており、取り組みを行っている。 【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか 総合評価 貢献度が中程度 いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応につながっている取り組みを行っている。 【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか 総合評価 概ね実行している 各学校での様々な問題に対して、関係機関と連携しながら、問題解決を行っている。 【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか 総合評価 類似事業はない/統合はできない いじめや問題行動等への対応は、生徒指導対策の位置付けで行っている。 【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか 総合評価 できない 問題事業によって、対応手段を変えることは必要であるが、慎重かつ丁寧な対応が求められるものである。 【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか 総合評価 コスト削減の余地はない 問題事業の対応は様々で、問題によっては大きな事業に発展する場合もあり、関係機関等と連携した対応やケース会議等が重要である。 【効率性評価】 受益者負担を求められることができる事業か 総合評価 負担を求められるべき事業ではない 小中学校の教員が対応すべきもので、受益者負担を求められるものではない。

【今後の対応・方向性】

- 令和 5年度目標・改善内容 1 スクールソーシャルワーカーの積極的な活用を、小・中共に進める。 2 心の通い合う生徒指導体制の充実及び規範意識の醸成等に努めるなど、主体的に自己を成長させていく過程を支援する。 3 研修の機会を確保し、担当者の生徒指導に関する専門的資質の向上を図る。 4 小中連携を通して、一貫性のある生徒指導体制づくりに努める。 5 事業発生時の早期発見、早期の適切な対応。

今後の課題

- ・保護者対応において、学校だけで対応が困難な状況の増加。 ・児童生徒と向き合う時間の確保。 ・関係機関とのネットワーク構築と連携。 ・小中連携を通して、一貫性のある生徒指導体制づくり。 ・事業発生後の適切な対応、情報共有。

今後の取組・方向性

- ・複雑な背景を持つ児童生徒に対する指導では、SSWが見立てを行い、関係機関との連携を図り、計画的に指導を進める。 ・各校研修会を実施し、チーム学校として適切な組織的対応及び問題解決や児童生徒等の支援体制を確立していく。 ・小中連携を図りながら、事業に対しての研究を深めていく。

【総合評価】

事業が多様化しており、学校だけでは解決できない事業も増加している現状を踏まえ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家や関係機関と連携をしながら対応していくことが、今後も必要となる。 妥当性 あり 達成度 概ね達成した 改善余地 ある程度改善の余地がある 今後の方向 拡大・充実

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 学校体育振興事業, 教育委員会教育部学校教育室保健安全・特別支援教育課, 010202030271, 村上 洋子.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市 and 01 子育て・教育, 02 未来への道を切り拓く力が育っている, 02 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます, 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象 (幼児児童生徒及び教職員), 意図 (幼児児童生徒が、心身の調和のとれた発達を図るため、生涯を通じてスポーツに親しみ、継続的に運動ができる資質や能力を育成し、体力・運動能力を向上させる。), 大きな目的 (児童生徒の体力及び運動能力の向上).

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, その他), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費).

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes 1 運動の日常化へ向けた環境整備, 2 体力・運動能力調査をいかけた授業づくり, 3 幼小中の保育・授業公開を通じた教師間の連携、研究協議.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes 幼小中の保育・授業に参加し、教師間の連携や授業改善に取り組むことができた。 and 指導力向上を目指した授業研究の充実.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes 幼小中の保育・授業に参加し、教師間の連携や授業改善に取り組むことができた。 and 指導力向上を目指した授業研究の充実.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価. Includes 事業実施に妥当性があるか, 総合評価 (現段階では市による実施が妥当である), 前期基本計画との整合性はあるか, 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 類似事業はない/統廃合はできない.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題. Includes 1 運動の日常化へ向けた環境整備, 2 体力・運動能力調査をいかけた授業づくり, 3 幼小中の保育・授業公開を通じた教師間の連携、研究協議.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 保幼小中との連携の推進 and 中学校区ごとの保幼小中の連携に向けた研修と教職員の交流.

Table with 2 columns: (総合評価), 系統的な指導となるよう校内、校外で連携を図るとともに、幼小中の相互に実践交流を継続する。 Includes 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実).

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 学校保健関係事務, 教育委員会教育部学校教室保健安全・特別支援教育課, 010202030273, 村上 洋子.

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows: 戸屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (対象, 意図, 大きな目的), 全体概要 (校医健康診断, 業者による検診, 医師会・歯科医師会・薬剤師会との研修, 学校環境衛生検査).

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり, 1世帯当たり), 特記事項・備考.

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)
感染症対策等支援事業が別の事務事業で実施となったため

【令和4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和4年度目標, 令和4年度の実施内容. Values include 健康診断の円滑な実施, 新型コロナウイルス感染症の健康管理対応.

Table with 2 columns: 令和4年度の改善内容. Values include 健康上の課題等、関係機関と協議しながら対応した, 各種健康診断の課題を明らかにし、委託先にも改善を依頼した.

Table with 2 columns: 現在認識している課題. Value: withコロナを含めた様々な健康課題への対応.

Table with 2 columns: 事業の評価. Values include 目的妥当性評価, 総合評価, 健康診断業務は法令によって実施が定められている.

Table with 2 columns: 事業の評価 (continued). Values include 有効性評価, 効率性評価, 総合評価, 健康診断業務はほかに事業は無い.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和5年度の目標・改善内容. Value: 健康診断の円滑な実施と5類に移行したが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザを含めた感染症対策を進める。

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Values include 5類に移行したが、新型コロナウイルス感染症を含めた感染症対策について引き続き留意しながら、様々な健康課題に対応する。

Table with 2 columns: 総合評価. Values include 幼児児童生徒が安心安全な学校生活を送るために、換気等感染症対策には留意しながら、検診業務を着実に進行する。

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 中学校部活動推進事業, 教育委員会教育部学校教室学校支援課, 010202034029, 坪井 政人.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 内容, 値. Includes 戸書の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象 (中学生及び教職員), 意図 (青少年の健全育成の一環として行われている部活動が...), 大きな目的 (青少年健全育成の一環として行い、中学校部活動運営に関する事業を円滑に実施し、地域とも連携しながら部活動の振興を図る。)

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について, 注. Includes rows for 合計, 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, 源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費).

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes ①校舎建て替えに伴う、精道中学校運動部の練習場所の確保。②部活動技術指導者及び部活動支援員の配置により、指導の充実を図る。

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容, 令和 4年度の改善内容. Includes ①精道中学校校舎建て替えに伴う運動部活動の練習場所確保。②部活動技術指導者及び部活動支援員の配置。

Table with 2 columns: 現在認識している課題. Includes 部活動の地域移行に向けた指導者、財源の確保。

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価, 整合性はある。計画と整合性がある。

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 総合評価. Includes 貢献度が大きい。 「生きる力」の育成という面で貢献している。

Table with 2 columns: 有効性評価, 総合評価. Includes 概ね実行している。 毎学期、実施状況調査を行い改善がみられる。

Table with 2 columns: 有効性評価, 総合評価. Includes 類似事業はない／統廃合はできない。 学校教育の一環である。

Table with 2 columns: 効率性評価, 総合評価. Includes できない。 現行の方法が極めて効果が高い。

Table with 2 columns: 効率性評価, 総合評価. Includes コスト削減の余地はない。 コストを下げると配置頻度が減り、効果が低下する。

Table with 2 columns: 効率性評価, 総合評価. Includes 負担を求めるときは必要ではない。 義務教育段階の教育活動である。

Table with 2 columns: 今後の対応・方向性. Includes 令和 5年度の目標・改善内容. ①部活動委託料の執行について、円滑な予算執行を行い部活動の活性化を図る。

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes ①部活動の地域移行を視野に入れ、所管課とも連携しながら技術指導者及び支援員の確保に努める。

Table with 2 columns: 総合評価. Includes 協議体を立ち上げ、地域連携を視野に入れた部活動の地域移行を進める必要がある。

Table with 2 columns: 総合評価. Includes 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Values include あり, 概ね達成した, ある程度改善の余地がある, 現状維持.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (教職員の資質向上事業), 事務事業番号 (010202030285), 担当所属 (教育委員会教育部学校教育室学校教育課), 担当課長名 (尾上 昌希)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 戸屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画 (事業期間, 事業種別), 根拠法令等 (教育公務員特例法), 実施区分 (直営, 財源, 施設種別)

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】, 【大きな目的】), 全体概要 (□管理職, 教務主任等の研修の実施, □指導と評価の一体を図る研修の実施)

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数), 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, 源その他, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費), 事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標 (1. 校園長研修に... 2. 学習評価に係る研修... 3. ICTの効果的な利活用...), 令和 4年度の実施内容 (1. 校園長研修会... 2. 学習指導要領... 3. ICTの効果的な利活用...)

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容 (1. 教職員が自主的に学ぶ姿勢... 2. ICTを活用した授業改善... 3. ICTの効果的な利活用...)

Table with 2 columns: 現在認識している課題 (1. 児童生徒の心に寄り添ったきめ細やかな対応... 2. ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」... 3. 自主的集団的な活動の再考)

Table with 2 columns: 【事業の評価】 (【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか, 【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか, 【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 【効率性評価】 受益者負担を求められることのできる事業か)

Table with 2 columns: 【今後の対応・方向性】 (令和 5年度の目標・改善内容 (1. 教職員の実践的な研修の充実... 2. 組織的・協働的に諸課題の解決... 3. 今日的な教育課題... 4. 教職員が子どもたちと向き合う時間を確保... 5. 情報管理の徹底を図る))

Table with 2 columns: 今後の課題 (1. 内容を精査しながら研修を実施する... 2. 適切な執行ができるような学習評価を引き続き研修していく... 3. 様々な教育課題の解決につながるような視点でICTの利活用を進め... 4. ICTの効果的な利活用の実践事例の共有化を図る)

Table with 2 columns: 今後の取組・方向性 (1. 各学校園において今日の教育的課題について研修を深める... 2. 教頭会等ミドルリーダーの育成に力を入れる... 3. 多様な専門性を持つ人材や関係機関と効果的な連携を図り... 4. ICTの効果的な利活用の実践事例の共有化を図る)

Table with 2 columns: 【総合評価】 (教職員の資質向上の根本である「相手意識」「他者理解」をベースに、校園長会や校園長研修会等の機会をとらえて今日の教育的課題の解決に向けた啓発を図る)

Table with 2 columns: 総合評価 (妥当性: あり, 達成度: 概ね達成した, 改善余地: ある程度改善の余地がある, 今後の方向: 拡大・充実)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (義務教育運営等事務) and 事務事業番号 (010202030280). Includes 担当所属 (教育委員会教育部学校教育室学校教育課) and 担当課長名 (尾上 昌希).

【事務事業基本情報】

Table containing 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間 (～ 永年), 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 根拠法令等 (学校教育法), 実施区分 (直営), 財源 (市), 施設種別.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】小・中学校児童・生徒・教職員, 【意図】各学校の教材, 消耗品が充実する中で, 【大きな目的】小・中学校運営における円滑化と教育効果を高める教材, 教具の計画的な整備), 【全体概要】(□小・中学校の教科等研究推進に伴う予算執行・管理事務, □小・中学校の研究発表等に対する指導助言, □小・中学校の消耗品購入等, 学校の教育環境充実に向けての予算執行・管理事務, □学習指導要領の内容に準拠した教材及び教具を小・中学校に適正配備する, □教材備品の廃棄や補修をする).

【事務事業の経費】

Table showing financial data for 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算. Includes rows for 合計, 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, 源その他), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費).

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

感染症対策支援事業に関する事業費増のため

【令和4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和4年度目標 (1. 学校の研究推進に伴う予算執行・管理事務, 2. 学校に必要な教材及び教具の整備, 3. 授業研究会や研修会を実施し、学習効果を上げるための取組を推進).

令和4年度の実施内容

Table with 2 columns: 令和4年度の実施内容 (1. 学習効果の上がる教材備品や消耗品について整備した, 2. 各学校が教科研究を円滑に行えるように、支援の充実を図った, 3. 授業研究会や各担当者会を通じて、今日的な課題に対する子どもの実態に即した研修会を実施することができた, 4. 感染症対策等支援事業費補助金を利用し、感染症対策等を徹底しながら、感染状況に応じた教育活動が実施できるよう教材等の整備を行った).

令和4年度の改善内容

Table with 2 columns: 令和4年度の改善内容 (新型コロナウイルス感染症に伴う影響で感染対策を講じるための消耗品等の整備を行った。また、感染症対策等を徹底しながら、感染状況に応じた教育活動を実施するため必要となる教材等の整備を行った。)

現在認識している課題

ICTの効果的活用も含めた研修会の持ち方について

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (法令等により市が実施しなければならない), 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価 (整合性はある), 総合戦略の推進に貢献しているか, 総合評価 (貢献度が大きい), 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 総合評価 (概ね実行している), 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか, その事業と統合/代替できないか, 総合評価 (類似事業はない/統廃合はできない), 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 総合評価 (できない), 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 総合評価 (コスト削減余地あり), 受益者負担を求めることができる事業か, 総合評価 (負担を求めるべき事業ではない).

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容 (1. 学校の研究推進に伴う予算執行・管理事務, 2. 学校に必要な教材及び教具の整備, 3. 授業研究会や研修会を実施し、ICTを効果的に利活用した取組を推進).

今後の課題

Table with 2 columns: 今後の課題 (1. 各校における研究会・研修会の内容の充実, 2. 教育効果を高める教材備品等の情報共有, 3. ICTを効果的に活用した授業研究及び研修会の実施).

今後の取組・方向性

Table with 2 columns: 今後の取組・方向性 (1. 学習効果の上がる教材備品や消耗品について整備する, 2. 各学校が教科研究を円滑に行えるように、支援の充実を図る, 3. ICTを効果的に活用した授業研究会や研修会の実施).

【総合評価】

Table with 2 columns: 総合評価 (教育効果の上がる備品、消耗品の購入を行う。校内における研修や校外での実践交流も踏まえた研究会の充実を図る。), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実).

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (文化活動振興事業), 事務事業番号 (010202030263), 担当所属 (教育委員会教育部学校教育室学校支援課), 担当課長名 (坪井 政人)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間 (昭和54年度 ~ 永年), 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 根拠法令等 (学校教育法), 実施区分 (直営), 財源 (市), 施設種別

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】 幼児児童生徒, 【意図】 幼児児童生徒の文化体育活動への意欲が高まる, 【大きな目的】 幼児児童生徒の文化体育への意欲の高揚及び学校園教育の市民への啓発), 【全体概要】 (自由研究・教育活動展開催, 中学校総合文化祭開催, 造形教育展開催, 芦屋市吹奏楽連盟演奏会開催)

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数), 事業費 (特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費), 事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 (芦屋市立幼・小・中の文化的活動の実施), 1 自由研究・教育活動展、総合文化祭、造形教育展等を通して学校園の活動内容を発信し、交流することでさらなる高まりを促進, 2 ホームページやチラシ等において、事業を広く市民へ啓発

令和 4年度の実施内容

- 1 自由研究・教育活動展の展示 (打出教育文化センターにて)
2 総合文化祭、吹奏楽連盟定期演奏会をルナホールにて実施
3 造形教育展を市民センターにて実施
※美術博物館改修工事による休館中のため、会場を変更して実施。
4 ホームページ等で市民への広報を行った。

令和 4年度の改善内容

- 1 幼児児童生徒の文化活動への意識が高揚するように、引き続き取り組み方法を考えていく。
2 事業の効果的な周知方法について考える

現在認識している課題

学校園で実施している自由研究・教育活動展や造形教育展については事業の見直しも含めてあり方について検討していく必要がある。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (現段階では市による実施が妥当である), 運営や展示については幼児児童生徒とかわっている教職員と指導主事が行うべきである, 目的妥当性評価 (前期基本計画との整合性はあるか), 総合評価 (整合性はある), 文化活動の推進を教育の視点からも進めるべきことである, 目的妥当性評価 (総合戦略の推進に貢献しているか), 総合評価 (貢献度が大きい), 幼児児童生徒の文化活動への意欲の高揚に大きな役割を果たしている, 有効性評価 (評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか), 総合評価 (概ね実行している), 作品の搬入搬出、表彰状の作成等に係る業務を軽減するために取り組み方法を工夫している, 有効性評価 (同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか), 総合評価 (類似事業はない/統廃合はできない), 精査してきたので、これ以上は考えられない, 効率性評価 (手段変更によって費用対効果をあげることができるか), 総合評価 (できない), 現状以外の手段変更はない, 効率性評価 (成果を低下させずに、コストを削減できるか), 総合評価 (コスト削減の余地はない), 精査してきたので、これ以上は考えられない, 効率性評価 (受益者負担を求めることができる事業か), 総合評価 (負担を求めるべき事業ではない), 個人負担を求めて、展示するものではない

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容 (芦屋市立幼・小・中の文化的活動の実施), 1 自由研究・教育活動展、総合文化祭、造形教育展等を通して学校園の活動内容を発信し、交流することでさらなる高まりを図っていく, 2 ホームページやチラシ等において、事業を広く市民への啓発していく。

今後の課題

- 1 自由研究・教育活動展、造形教育展の展示方法も含め検討する。
2 市民への広報活動について考えていく

今後の取組・方向性

- 1 幼児児童生徒の文化活動への意識が高揚するように、引き続き、効果的な取り組み方法を考えていく。
2 事業の効果的な周知方法について考える。

【総合評価】

Table with 2 columns: 自由研究・教育活動展、造形教育展、中学校総合文化祭、吹奏楽定期演奏会等を通して、引き続き文化交流を図っていくとともに、学校園の教育活動を広く発信していく。 (妥当性: あり, 達成度: 概ね達成した, 改善余地: ある程度改善の余地がある, 今後の方向: 現状維持)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 進路指導関係事務 事務事業番号 010202030619
担当所属 教育委員会教育部学校教室学校支援課 担当課長名 坪井 政人

【事務事業基本情報】

戸籍の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます
主な施策 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備
事業期間 ~ 永年 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務
根拠法令等 学校教育法
実施区分 財源 市 施設種別

【事業概要】

事業概要
【対象】 幼児児童生徒
【全体概要】
1 中学校における進路指導の充実
(1) 進路担当者会の開催・中高連絡会への参加
(2) 進路指導に係る各種調査の実施・調査結果の集約
(3) 県の高校教育改革への対応
(4) 進路指導の手引き「進路の学習」の作成、配付
2 小学校における進路指導の充実
(1) 公立中学校との連携強化を図る事業の推進
3 幼児期から発達段階に応じたキャリア教育の充実
【意図】
中学校における進路指導が充実し、生徒が行きたい進路を選択できるようにする。
幼児児童生徒が自分の将来に対して夢や希望を抱いて生活する。
【大きな目的】
県教育委員会が推進する高校教育改革への対応を行い、中学校の進路指導の充実を図る。
幼稚園、小学校、中学校の接続を意識した進路指導（キャリア教育）を推進する。
子どもたちが自分の将来や生き方を考え、進路を切り拓く力を身につけさせる。

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算 令和 4年度決算について
合計 千円 1,480 1,840 0 住民1人当たり(円) 19.66
事業費 千円 1,480 1,840 0 1世帯当たり(円) 43.19
特 国費 千円 0 0 0 人口 93,596
定 県費 千円 0 0 0 世帯数 42,603
財 市債 千円 0 0 0
源 その他 千円 0 0 0
一般財源 千円 1,480 1,840 0
うち人件費合計 千円 1,480 1,840
活動配分 人 0.200 0.250
正職員 人 0.200 0.250
会計年度任用職員 人 0.000 0.000
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0
事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
・今年度実施された選抜結果を分析、整理し、次年度の進路指導に活用する。
・将来の夢や希望につながるよう、キャリア教育の一環として進路指導の充実を図る。
令和 4年度の実施内容
1 中学校育友会主催 進路協議会 7月実施 30人参加
2 中学校進路指導担当者会 年8回 各回4人参加
(5・6・9・10・11・12・1・3月)
3 進路希望調査 年6回(6・9・10・11・12・1月)
中学3年生全員対象
4 進路結果集約 年2回(2・3月)
令和 4年度の改善内容
・オープンハイスクールの申込み変更に伴う取組の見直し。
・私学出願変更の際し、取組の情報共有。
現在認識している課題
・私学出願の効率化
・過密日程の中の郵送出願について

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 現時点では市による実施が妥当である
公立学校の教育の一部である。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
子どもたちの自己実現を図る手段である。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
子どもたちの自己実現を図ることに貢献している。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 概ね実行している
毎年進路結果を詳細に分析している。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統廃合はできない
他に事業は考えられない。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できる
費用はほとんどかからず、実施している。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない
コストはほとんどかからず、実施している。
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価 負担を求めるとき事業ではない
教育活動の一部である。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
・令和4年度選抜結果を分析、整理し、次年度の進路指導に活用する。
・将来の夢や希望につながるよう、キャリア教育の一環として進路指導の充実を図る。
・年ごとに変わる出願方法についてスムーズに取り組めるよう情報共有する。
今後の課題
・Webでの申し込みが増える中、各校の申し込み方法に対応する。(オープンハイスクール・出願など)
・多種多様な出願に対応するべく、情報共有を3校で行い、効率的に対応できるようにする。
今後の取組・方向性
・年々変わるオープンハイスクールや出願に対し、迅速に情報共有・対策を講じ、各校が効率的に進路指導ができるようにする。
・生徒・保護者にこまめな懇談、丁寧な説明等を行い、充実した進路指導を行う。
【総合評価】
キャリア教育を引き続き充実させるとともに、中高連絡協議会等で協議を進め、幼児児童生徒が夢や希望を抱いて生活できるよう、研究を進めて行く必要がある。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 ある程度改善の余地がある
今後の方向 現状維持

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名	環境教育推進・自然学校推進事業	事務事業番号	010202030268
担当所属	教育委員会教育部学校教室学校支援課	担当課長名	坪井 政人

【事務事業基本情報】

戸籍の将来像	人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市		
総合計画	施策分野	01 子育て・教育	
	施策目標	02 2 未来への道を切り拓く力が育っている	
	基本施策	02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます	
	主な施策	03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備	
課題別計画			
事業期間	平成 3年度 ~ 永年	会計種別	一般会計
		事業種別	自治事務
根拠法令等	学校教育法		
実施区分	直営、委託、補助	財源	市、国・県等の補助
		施設種別	

【事業概要】

【対象】 1 環境体験事業 市立小学校3年生全児童 2 自然学校推進事業 市立小学校5年生全児童 【意図】 1 小学校が体験型環境学習を実施する 2 児童へ生命に対する畏敬の念・感動する心・共に生きる心を育む 【大きな目的】 学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、さまざまな活動に取り組むことを通して、心身ともに調和のとれた児童の育成を図る。	【全体概要】 1 県補助事業 2 環境体験事業 (1) 対象：公立小学校3年生全児童 (2) 内容：地域の自然に出かけ歩き、地域の人の協力を得ながら自然観察や栽培・飼育などの五感を使って自然にふれ合う体験型学習を継続的に実施する。 (3) 実施回数：3回以上 (4) 対象地域：①里山、②田や畑、③水辺(川や海岸等)、④地域の自然 3 自然学校推進事業 (1) 対象：公立小学校5年生全児童 (2) 利用施設：丹波少年自然の家 学校内・六甲山・県立海洋体育館等 (3) 期間：5日間(宿泊含む)と事前・事後学習 (4) 活動内容：自然観察・登山・星の観察・基地作り・野外炊事 キャンプファイヤー等 (5) その他：指導補助員・救急員配置
--	---

【事務事業の経費】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 4年度決算について
合計	千円	14,750	10,758	13,820	住民1人当たり(円) 114.94
事業費	千円	14,750	10,758	13,820	1世帯当たり(円) 252.52
特 国費	千円	0	0	0	人口 93,596
特 定 県費	千円	5,789	5,582	6,154	世帯数 42,603
財 市債	千円	0	0	0	
源 その他	千円	0	0	0	令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より
一般財源	千円	8,961	5,176	7,666	特記事項・備考
うち人件費合計	千円	2,375	2,649		
活動配分	人	0.350	0.360		
正職員	人	0.300	0.360		
会計年度任用職員	人	0.050	0.000		
うち経費	千円	0	0		
減価償却費	千円	0	0		
他部門経費	千円	0	0		

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)

令和 3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、バスの台数を増やして実施したが、令和 4年度においては、通常どおりの台数で実施を行った。その為、事業費が大幅に減となった。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
1 地域の自然の中で、自然観察等体験的な学習活動を通して、豊かな心や自己を見つめる力の向上を図る。 2 環境体験学習や自然学校の更なる充実のため、活動プログラムを精選する。

令和 4年度の実施内容

1 達成状況(1) 環境体験事業の達成状況 参加人数：第3学年 児童 716名(全小学校) 実施場所：学校内・芦屋川(源流、上流、中流、下流)・仲ノ池公園等 活動内容：水辺 地域の自然等の環境における体験学習 (2) 自然学校推進事業の達成状況 参加人数：第5学年 児童 695名(全小学校) 実施場所：学校内・六甲山・県立海洋体育館等・丹波少年自然の家 活動内容：陶芸体験・藍染め体験・野外炊事・登山・キャンプファイヤー等 2事業費 総事業費 8,109,000円 県交付金 5,582,000円

令和 4年度の改善内容

①自然学校の指導補助員のネットワークを利用した人材発掘。 ②バスの借り上げの早期対応。 ③活動場所や内容について学校間での情報共有。
--

現在認識している課題

①自然学校の指導補助員、救急員の発掘や代替。 ②活動場所が異なるために2回目のバスの借り上げについては保護者負担となる。 ③次年度以降の宿泊先の確保。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか 総合評価 現時点では市による実施が妥当である 県の補助事業であるが、現時点では市による実施が妥当である。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか 総合評価 整合性はある 心の教育の充実や体力向上の内容になっている
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか 総合評価 貢献度が大きい 心の教育や体力向上が図られている。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか 総合評価 改革終了/計画どおり実行中 児童の実態を捉えた改革案を遂行している。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか 総合評価 類似事業はない/統合はできない 現在行っている事務の方法の変更は想定していない。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか 総合評価 できない 現在行っている事務の方法の変更は想定していない。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか 総合評価 コスト削減の余地はない コスト削減は、内容の低下につながると考えられる。
【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か 総合評価 適正な負担を求めている 受益者負担の部分と分けて実施している。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容 小学校における自然学校・環境体験活動の推進	今後の課題 ①環境学習における指導者や自然学校の指導補助員・救急員の人材発掘 ②バス借上げ代の高騰により、活動費等が削られ、学習内容の質の低下につながる ③活動プログラムの精選による、より質の高い環境体験学習や自然学校の実施	今後の取組・方向性 ①指導補助員や救急員の人材発掘方法の研究 ②バス借上げ代を抑えるためのプログラム等の検討 ③各校の活動プログラム等を紹介し、環境体験学習や自然学校の更なる充実を図る。④4泊5日の活動に限り、プログラム内容の変更と研究を図る。
---	---	---

【総合評価】 再来年度以降の施設の確保の検討を進めながら、4泊5日に対応したプログラムについて再考する必要がある。	<table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>概ね達成した</td> </tr> <tr> <td>改善余地</td> <td>ある程度改善の余地がある</td> </tr> <tr> <td>今後の方向</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	妥当性	あり	達成度	概ね達成した	改善余地	ある程度改善の余地がある	今後の方向	現状維持
妥当性	あり								
達成度	概ね達成した								
改善余地	ある程度改善の余地がある								
今後の方向	現状維持								

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content includes '特色ある学校園づくり支援事業', '教育委員会教育部学校教育室学校教育課', '010202030241', and '尾上 昌希'.

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows for project details: 戸屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】, 【大きな目的】) and 全体概要 (1-5 items).

【事務事業の経費】

Table with columns for fiscal year (年度), unit (単位), and budget (令和3年度決算, 令和4年度決算, 令和5年度予算). Includes sub-tables for 事業費 and うち経費.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Content includes '学校園の特色ある教育活動の支援' and '1 全ての学校園で教育ボランティアを有効活用し...'.

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容 (continued), 令和 4年度の改善内容. Content includes '地域ボランティアとゲストティチャーの違いについて...'.

Table with 2 columns: 現在認識している課題. Content includes '新型コロナウイルス感染症対策を講じながら...'.

Table with 2 columns: 【事業の評価】. Content includes '【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか'.

Table with 2 columns: 【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか. Content includes '総合評価 整合性はある'.

Table with 2 columns: 【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか. Content includes '総合評価 貢献度が中程度'.

Table with 2 columns: 【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか. Content includes '総合評価 概ね実行している'.

Table with 2 columns: 【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか. Content includes '総合評価 類似事業はない/統廃合はできない'.

Table with 2 columns: 【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか. Content includes '総合評価 できる'.

Table with 2 columns: 【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか. Content includes '総合評価 コスト削減の余地はない'.

Table with 2 columns: 【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か. Content includes '総合評価 負担を求めるべき事業ではない'.

Table with 2 columns: 【今後の対応・方向性】. Content includes '令和 5年度の目標・改善内容'.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Content includes '地域ボランティアやゲストティチャーについて...'.

Table with 2 columns: 【総合評価】. Content includes '学校園と地域が連携し、開かれた学校園運営を行うとともに...'.

Table with 4 columns: 総合評価 (妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向). Content includes '妥当性 あり', '達成度 概ね達成した'.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 防災・安全教育推進事業, 教育委員会教育部学校教育室保健安全・特別支援教育課, 010202034024, 村上 洋子.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市 and 施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象, 意図, 大きな目的, and 全体概要 details.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 合計, 事業費, うち人件費合計, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
いのちの尊さや助け合いの大切さ、震災から得た教訓を語り継ぎ、防災教育の充実を図る。安全教育の指導方法や教育手段の開発、普及について専門家の助言を受け、学校園における安全教育の充実を図る。

令和 4年度の実施内容

①湖見中学校区の2小学校(湖見小、浜風小)における通学路合同点検の実施 ②総合警備保障株式会社と連携し、8小学校の2年生児童を対象に防犯教室を実施 ③「子どもを守る110番の家・店」の設置及び周知 ④交通指導員による幼稚園児・小1児童への交通安全教室...

(事業費)・防犯ブザー 289千円 ・防災教育研究会講師謝金 15千円

令和 4年度の改善内容

・学校園の安全計画、緊急時対応マニュアルの見直しサイクルの確立 ・通学路合同点検対策まとめの市ホームページ公表 ・小学3年生対象の防犯教室(留守番時の安全)の実施 ・防災意識を高めるための教育内容や避難訓練の工夫 ・避難所運営、運営に関するマニュアルを生かし、地域との連携等を考えた訓練の工夫

現在認識している課題

・幼児児童生徒及び保護者への安全に対する意識向上 ・児童及び保護者への「子どもを守る110番の家・店」の周知 ・避難所における地域との連携

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 総合評価. Includes 事業実施に妥当性があるか, 総合評価, 他に適切な実施者がいない, 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価, 整合性はある, 地域と連携した交通安全、防災の取組をすすめているところで整合性が十分にある, 総合戦略の推進に貢献しているか, 総合評価, 貢献度が大きい, 安全なまちづくりをすすめる面で貢献している, 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 総合評価, 概ね実行している, 毎年、意見交換をしながら改善を重ねている, 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか, 総合評価, 類似事業はない/統廃合はできない, 他の事業では同じような効果は得られない, 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 総合評価, できない, 現行の方法が極めて効果が高い, 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 総合評価, コスト削減の余地はない, 安全な生活に直結する取組のため、コスト削減は考えられない, 受益者負担を求められることができる事業か, 総合評価, 負担を求められるべき事業ではない, 職員の研修等、負担をもとめるものではない

【今後の対応・方向性】

令和 5年度目標・改善内容
・子どもの防災、安全に関する意識向上と学校園及び校区内の安全な環境づくり

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 今後の課題: 幼児児童生徒及び保護者の安全意識向上を図る。児童及び保護者に「子どもを守る110番の家・店」を周知する。学校園における防災マニュアルの内容の見直しと、避難訓練の内容の工夫を進める。 今後の取組・方向性: 令和5年度は精進中学校区の3小学校の通学路点検を実施する。幼児児童生徒及び保護者への安全意識向上を図る。学校園の緊急時対応マニュアル、防災マニュアル等の点検、見直しを進める。担当者会において、防災知識を深めるための研修を行なう。

Table with 2 columns: 総合評価, 妥当性. Includes 総合評価: 各学校園が、避難訓練や防犯訓練等、命を守る為の活動を継続して行なえた。各学校園で、危機管理マニュアル等の見直しを丁寧に行ない、職員の意識の向上をはかることが必要である。 妥当性: 義務的事業, 達成度: 概ね達成した, 改善余地: ある程度改善の余地がある, 今後の方向: 拡大・充実

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 打出教育文化センター教育研究推進と研修事業
事務事業番号 010202030287
担当所属 教育委員会教育部学校教育室打出教育文化センター
担当課長名 田淵 雅樹

【事務事業基本情報】

芦屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます
主な施策 03 2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備
事業期間 平成 2年度 ~ 会計種別 一般会計 事業種別 自治事務
根拠法令等 地方教育行政法、地方教育行政の組織及び運営に関する法令(第30条)、学校教育法、打出教育文化センター条例
実施区分 直営 財源 市 施設種別 社会教育施設

【事業概要】

事業概要
【対象】 芦屋市立幼稚園・こども園・小学校・中学校教職員及び幼児児童生徒
【全体概要】 □社会や時代のニーズにあった一般研修・新規採用教員研修・経験者研修・管理職研修
【意図】 芦屋市立幼稚園・こども園・小学校・中学校教職員の実践的指導力や意欲、資質の向上を図る。
【大きな目的】 教職員一人一人が、専門性や指導力を身につけ、学習指導や生徒指導の資質・能力を高め、幼児児童生徒や保護者の信頼を得る。

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 10,001 10,423 2,182
事業費 千円 10,001 10,423 2,182
特 国費 千円 0 0 0
定 県費 千円 0 0 0
財 市債 千円 0 0 0
源 その他 千円 0 0 0
一般財源 千円 10,001 10,423 2,182
うち人件費合計 千円 8,449 8,783
活動配分 人 1,200 1,250
正職員 人 1,100 1,150
会計年度任用職員 人 0,100 0,100
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0
事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
より有効で効果的な教育実践を行うため、現状に即した実践的研修を企画して「教師力」「教養的資質」を高める研修に努める。また、子どもたちの情報モラルの育成を目標にした研修を実施する。さらに、オンライン研修やオンデマンド研修などを取り入れ、様々な形態での研修を進める。

令和 4年度の実施内容

- 1 小中学校新規採用教員研修 全4回 延べ41人が参加
2 一般研修講座 全23回 延べ770人が参加
3 管理職研修 全2回 延べ85人が参加
4 教師力向上支援事業 全11回 延べ5人が参加
5 教育研究部会 年間を通じて32人が参加

- ・研修会報償費 1, 140千円
・需用費 428千円
・図書費 56千円

令和 4年度の改善内容

研修1講座あたりの参加人数の増加。

現在認識している課題

参加人数を増加させるための具体的な手立て。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 法令等により市が実施しなければならない
教育公務員特例法第21条2により「教育公務員の研修について、計画を樹立し、その実施に努めなければならない」と示されている。
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
教職員の資質向上は、子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長することに直結するため。
【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価 貢献度が大きい
教職員の指導力と人間性の向上は、子どもたちの学力を伸ばすとともに、子どもたちの心の成長に大きく寄与するため。
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 概ね実行している
オンライン等を用いて、様々な形態で研修を実施したため。
【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価 類似事業はない/統廃合はできない
市の実態に即した教職員のための研修であるため、統合はできない。
【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価 できる
研修については、学校園への周知方法や時期・内容・会場等を精選することで、研修参加者数や研修満足度の向上が見込まれるため。
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 ある程度のコスト削減余地あり
研修の充実やコロナ禍前の研修本数維持にはある程度のコストが必要となるが、講師の精選・実施形態の精選等で削減の余地はある。
【効率性評価】 受益者負担を求められることのできる事業か
総合評価 負担を求められるべき事業ではない
公教育における教職員の資質向上に関する事業のため。

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容

- 1 教職員が、子どもたちにとってより効果的で有効な教育実践を行うために、現状の課題に即した実践的な研修を企画・立案し、「教師力」の向上を図る。
2 学校園における指導力の向上のみならず、「豊かな人間性」「人権意識」「社会性」といった「教職に必要な素養」を高める研修に努める。
3 子どもたちの情報モラルの育成を目標にした研修を実施する。
4 必要に応じてオンライン研修やオンデマンド研修の実施について検討し、研究を進めていく。

今後の課題

- 1 「教職に必要な素養」について明確化し、教員としての資質向上に関する研修を体系化するため、研究を進める。
2 研修参加人数を増加させる。

今後の取組・方向性

- 1 教員としての資質向上に関する研修を体系化するために、「教職に必要な素養」を明らかにする。また、教職員から研修に関する意見を集約し、研修計画に反映させる。
2 学校園への周知・申込方法や、時期・内容・会場等を精選することで、研修参加者数の増加を図る。

【総合評価】

夏季研修講座においては、キャリアアステージに応じた研修を企画したことや会場を学校園にすることで参加者を増加させることができた。研修後のアンケートや学校訪問で得たニーズを来年度の研修計画に反映させた。教育研究部会においては、共通テーマを掲げ年間の研究の充実を図るきっかけを創ることができた。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 ある程度改善の余地がある
今後の方向 現状維持

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 打出教育文化センター一般事務, 教育委員会教育部学校教室打出教育文化センター, 010202030283, 田淵 雅樹.

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows: 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes details about staff, objectives, and implementation of the project.

【事務事業の経費】

Table with columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes a sub-table for 事業費 (国費, 特定県費, 財市債, 源) and うち経費 (活動配分, うち経費).

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
学校支援相談員が、小中学校の若手教員へ指導・支援を行い、教員の資質能力向上を図る。

令和 4年度の実施内容
1 学校支援相談員 3名 10,146千円
(1) 小中学校の臨時的任用教員等への授業視察による事後指導。
(2) 小中学校で発生した保護者対応等の問題解決に向けた管理職との相談と助言。
2 会計年度任用職員 1名 2,993千円
(1) 貸室業務、来客および電話対応、研究支援事務、一般事務等

令和 4年度の改善内容
臨時的任用教員研修の充実

現在認識している課題
学校支援相談員と助言指導を受ける教員のコミュニケーションができる時間の確保

【事業の評価】

Table with multiple rows: 目的妥当性評価, 総合評価, 前期基本計画との整合性, 総合評価, 貢献度, 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 総合評価, 類似事業はない/統廃合はできない, 効率性評価, 総合評価, 受益者負担を求められることができる事業か, 総合評価.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
1 学校支援相談員が、小中学校の臨時的任用教員へ指導・支援を行い、教員の資質能力向上を図る。
2 学校の諸問題について、学校支援相談員と管理職が相談し、よりよい方向に導く。

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes details about staff training and management consultation.

Table with 2 columns: 総合評価, 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Includes a summary of the project's performance and future outlook.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 保育士・保育教諭活躍サポート事業, こども福祉部こども家庭室ほいく課, 010202034041, 田中 孝之.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 戸屋の将来像, 総合計画. Includes 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市 and 施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 【全体概要】. Includes 【対象】, 【意図】, 【大きな目的】 and various details about childcare support.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費, 特定国費, etc.

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)
打出保育所、大東保育所、いせ虹こども園、あいさいこども園の開園に伴い、対象者が増えたため、増額となった。

【令和4年度の実施内容】

令和4年度目標
周知の強化を行い、適切に補助を行う。

令和4年度の実施内容
1. 保育士等確保定着支援事業
対象者数・・・110人 補助額・・・26,100千円
2. 保育士等宿舍借上げ支援事業
対象者数・・・50人 補助額・・・28,148千円

令和4年度の改善内容

現在認識している課題
この事業に対する制度のあり方を検討していく必要がある。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 総合評価. Includes items like 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価 with their respective scores.

【今後の対応・方向性】

令和5年度の目標・改善内容
周知の強化を行い、適切に補助を行う。
この事業に対する制度のあり方を検討していく必要がある。

今後の課題
この事業に対する制度のあり方を検討していく必要がある。
今後の取組・方向性
周知の強化を行い、適切に補助を行う。
この事業に対する制度のあり方を検討していく必要がある。

Table with 2 columns: 総合評価, 評価内容. Includes 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Content includes 学校園 ICT 環境整備事業, 教育委員会教育部学校教育室打出教育文化センター, 010202040655, 田淵 雅樹.

【事務事業基本情報】

Table with multiple rows: 戸書の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Content includes 対象 (児童生徒及び学校園教職員), 意図 (小中学校の授業において、タブレット端末等のICTを活用して学習できる環境を整備を進める。), 大きな目的 (児童生徒及び教職員が使用する教育情報ネットワークシステムの整備充実と運用保守情報セキュリティの確保).

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費 (特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費).

事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)
学校園ネットワーク・システム更新が令和3年度にあったが、令和4年度は大幅な学校園ネットワーク・システム更新及びソフトウェアの調達がなかったため事業費が減少している。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
教職員等及び児童生徒に対する情報セキュリティ・情報モラル教育・著作権への理解促進を図る。また、学校園ネットワーク・システム及び機器更新を着実に進める。

令和 4年度の実施内容

- 1 各校の情報モラルの取り組みを集約し、共有した。
2 情報セキュリティ実態調査を教職員等に行い、主として学校園におけるセキュリティ対策の実態を把握するとともに、課題整理をし、セキュリティ強化を図った。
3 情報セキュリティに関する研修をオンデマンド型で全教職員等に対して実施した。
4 潮見中学校のプロジェクト更新、中学校特別教室用無線アクセスポイントの更新、小学校中学年普通教室の大型提示装置更新、オンライン授業用タブレット端末95台 (iPad) の新規整備を行った。

令和 4年度の改善内容

- 1 学校教育課と連携し、オンライン授業及びタブレット端末を活用した授業の充実を図る。
2 教職員等の情報セキュリティに対する意識向上をさらに図る。

現在認識している課題

- 1 令和7年度に予定されている学習用タブレット端末の更新の動向
2 令和8年度に予定しているネットワークシステム更新の準備を開始する。

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 効果性評価. Includes rows for 事業実施に妥当性があるか, 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価, 評価結果や計画立案された改革を着実に実行しているか, 同目的を持つ他の事務事業はあるか, 経費削減効果をあげることができるか, 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 受益者負担を求めているか.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容

- 1 学校DXアドバイザーを活用し、児童生徒の学びの深化、及び、教職員等の業務改善に資する運用やシステムの検討を行う。
2 学校DXアドバイザーを活用し、令和8年度に予定している学校園ネットワーク・システム更新の基本計画を定める。
3 学校DXアドバイザーを活用し、統合型校務支援システムの円滑な導入を図る。

今後の課題

- 1 教職員等・児童生徒に対して情報セキュリティ・情報モラル・著作権に関する理解を進める取り組みを充実させること。
2 芦屋市における校務のDX化を具体化する。
3 令和5年度中に、令和8年度に更新を予定している学校園ネットワークシステムの全体像を確定させる。

今後の取組・方向性

- 1 教職員等に対して情報セキュリティ・情報モラル・著作権に関する理解を進める取り組みを充実させる。
2 芦屋市における校務のDX化を具体化する。
3 学校DXアドバイザーと協働し、数社にRFIを令和5年度中に提示し、案を聴取る。

【総合評価】

Table with 2 columns: 総合評価, 妥当性. Includes rows for 総合評価 (オンデマンド型の「情報セキュリティに関する研修」については、「情報セキュリティ実態調査」をもとに、常に教職員の実態に合わせた研修を実施し、セキュリティ強化を図った。), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (拡大・充実)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (企画運営事業), 事務事業番号 (010202050261), 担当所属 (教育委員会教育部学校教育室学校教育課), 担当課長名 (尾上 昌希)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】, 【大きな目的】), 【全体概要】 (□第3期教育振興基本計画の運用, □教科等研修会, etc.)

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (注民1人当たり, 1世帯当たり, etc.)

事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)

令和 4年度においては、学習指導要領改訂に伴う教師用教科書・指導書の整備がないため、事業費大幅減

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標 (1. 第3期芦屋市教育振興基本計画に沿って芦屋の教育指針の具体的な取組の充実, etc.), 令和 4年度の実施内容 (1. 第3期芦屋市教育振興基本計画を基に芦屋の教育指針を作成・配布し、学校園の適切な教育活動を支援し指導する, etc.)

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容 (新たな教育課題に対応した各種研修会の実施), 現在認識している課題 (学校運営協議会の全校実施に向けた調査研究)

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容 (新たな教育課題に対応した各種研修会の実施)

Table with 2 columns: 現在認識している課題 (学校運営協議会の全校実施に向けた調査研究)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名: トライやる・ウィーク推進事業
事務事業番号: 010202050269
担当所属: 教育委員会教育部学校教室学校支援課
担当課長名: 坪井 政人

【事務事業基本情報】

戸書の将来像: 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画: 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 02 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます
主な施策 05 4 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携し、社会の中で学べる環境づくり
課題別計画: 事業期間 平成10年度 ~ 永年
会計種別: 一般会計
事業種別: 自治事務
根拠法令等: 学校教育法
実施区分: 直営、委託
財源: 市、国・県等の補助
施設種別:

【事業概要】

事業概要
【対象】 市立中学校2年生全生徒
【意図】 学校・家庭・地域が連携して、中学生の心の教育の充実を図る。
【大きな目的】 思春期にある中学生に、時間的、空間的なゆとりを確保し、地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、「生きる力」の育成を図る。
【全体概要】
1 県の補助事業
2 内容
(1) トライやる・ウィーク
①対象: 市立中学校2年生全生徒
②時期・期間: 5月~6月 5日間
③体験先: 職場体験、福祉活動、芸術文化活動、幼児教育等を実施する市内各事業所
④推進体制: 推進委員会の設置・運営
⑤指導: 目的意識を明らかにする事前指導、その後の生活に活かす事後指導の実施
(2) トライやるのアクション
市立中学校生徒のうち希望者が年間を通して休日等を活用し、地域交流イベント等に参加するもの

【事務事業の経費】

年度別経費表
年度: 令和3年度決算, 令和4年度決算, 令和5年度予算
科目: 事業費, 国費, 特定県費, 財市債, 源, うち人件費合計, 活動配分, うち経費, 減価償却費, 他部門経費
注: 令和4年度決算については、令和4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より

【令和4年度の実施内容】

令和4年度目標
①不登校生を含め、市内公立中学校2年生全員の参加。
②トライやる・ウィーク実施前後の学習の充実を図る。
③キャリア教育の視点から体系的な取組として位置付ける。

令和4年度の実施内容
1 生徒参加状況
精道中 238人 山手中 167人 潮見中 123人
2 活動内容
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、事業所での活動を行った。

令和4年度の改善内容
事業所での活動日数を増やした。

現在認識している課題
コロナウイルスは随分落ち着いたものの、5日間の受け入れとなると職員の数や仕事の内容から受け入れが難しい事業所が増加している。

【事業の評価】
【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価: 現段階では市による実施が妥当である
公立学校の授業の一環である。

【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価: 整合性はある
学校、家庭、地域が連携して、心の教育の充実を図る取り組みを行っている。

【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか
総合評価: 貢献度が大きい
各学校がこの事業を通して心の教育を推進している。

【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価: 概ね実行している
アンケートや連絡協議会で見直しを行い、次年度の計画に反映させている。

【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
総合評価: 類似事業はない/統廃合はできない
類似や代替の事業はない。

【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
総合評価: できない
手段変更はできない。

【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価: コスト削減の余地はない
学校は予算内で事業を行うよう努力している。

【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
総合評価: 負担を求めるべき事業ではない
授業なので負担は求められない。

【今後の対応・方向性】
令和5年度の目標・改善内容
①不登校生を含め、市内公立中学校2年生全員の参加。
②トライやる・ウィーク実施前後の学習の充実を図る。
③キャリア教育の視点から体系的な取組として位置付ける。

今後の課題
①受け入れ先の確保
②心の教育とキャリア教育の視点を啓発していく必要がある。
③特別支援学級生徒等の受け入れ先への事前の丁寧な説明と打合せが必要である。またボランティアの確保が課題である。

【総合評価】
総合評価: あり
達成度: 概ね達成した
改善余地: ある程度改善の余地がある
今後の方向: 拡大・充実

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名 学校園・家庭・地域の教育推進支援事業
事務事業番号 010202054011
担当所属 教育委員会教育部社会教育室生涯学習課
担当課長名 田嶋 修

【事務事業基本情報】

芦屋の将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市
総合計画 施策分野 01 子育て・教育
施策目標 02 2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策 02 2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます
主な施策 05 4 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携し、社会の中で学べる環境づくり
事業期間 ~
会計種別 一般会計
事業種別 自治事務
根拠法令等 次世代育成支援対策推進法 芦屋市コミュニティ・スクール推進要綱、芦屋市放課後プラン(子ども教室型放課後対策)事業実施要綱
実施区分 直営、委託、補助
財源 市、国・県等の補助
施設種別

【事業概要】

事業概要
【対象】 市民
【意図】 コミュニティ・スクールの運営を、地域の住民が自主的に運営できるように側面から支援する。
【全体概要】 市内各コミュニティ・スクールの自主的な運営のための経費の一部を補助。
【大きな目的】 地域住民の組織的な活動をより活発にする。
【事業費の増減理由】 令和3年度から令和4年度の変化について

【事務事業の経費】

年度 単位 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 5年度 予算
合計 千円 14,100 14,988 5,884
事業費 千円 14,100 14,988 5,884
特定国費 千円 0 0 0
特定県費 千円 0 0 106
財市債 千円 0 0 0
財源 その他 千円 2,833 2,820 488
一般財源 千円 11,267 12,168 5,290
うち人件費合計 千円 6,658 7,359
活動配分 人 0,900 1,000
正職員 人 0,900 1,000
会計年度任用職員 人 0,000 0,000
うち経費 千円 0
減価償却費 千円 0
他部門経費 千円 0

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
□コミュニティ・スクール活動への継続した支援
□放課後プラン事業の円滑な事業運営
□地域子育て事業の実施

令和 4年度の実施内容
□コミュニティ・スクールの夏祭り・秋祭りや文化活動発表会等、地域コミュニティを醸成する事業を支援。
・コミュニティ・スクール連絡協議会への補助金 118千円
・9コミュニティ・スクールへの補助金 合計2,402千円
□PTA活動の支援 芦屋市PTA協議会への補助金 781千円
□校庭開放事業・実施回数 144回・延べ参加人数 813人
□学校支援ボランティア活動の支援
・学校支援ボランティア連絡会の開催 3回

令和 4年度の改善内容

現在認識している課題
学校・家庭・地域の連携協力のさらなる推進

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか
総合評価 現段階では市による実施が妥当である
【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
総合評価 整合性はある
【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
総合評価 概ね実行している
【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
総合評価 コスト削減の余地はない

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
□コミュニティ・スクール活動への継続した支援
□放課後プラン事業の円滑な事業運営
□地域子育て事業の実施

今後の課題
学校・家庭・地域の連携協力のさらなる推進
今後の取組・方向性
コミュニティ・スクール活動、PTA活動、学校支援ボランティア活動等の学校と地域の連携協力を推進するため、継続した活動支援を行う。

【総合評価】
学校園・家庭・地域の連携が取れるよう適切に支援を行っている。
妥当性 あり
達成度 概ね達成した
改善余地 ある程度改善の余地がある
今後の方向 現状維持

施策目標	2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策	2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます

【主な施策】2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010202034022	特定教育・保育施設等に対する監査指導事業	こども福祉部こども家庭室ほいく課（監査指導）	市内の特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、特定子ども・子育て支援施設等	就学前教育施設等の質の確保及び給付費等の支給の適正化をはかる	子どもを安心して就学前教育施設等に預けることができる環境を構築する	7,774	9,204	特定教育・保育施設等に対する定期的な実地指導・監査を実施し、保育事業の質の確保・向上をはかる。	・児童福祉法に基づく小規模保育事業所への施設監査 6園 ・子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設等の確認指導監査 11園 うち特定教育・保育施設 5園 地域型保育事業者 6園 ・集団指導 17園
010202030190	市立保育所・認定こども園の維持管理業務	こども福祉部こども家庭室ほいく課	保護者の就労や病気などの理由で昼間に保育を受けることが出来ない乳・幼児（0歳から就学前までの児童）に対し教育・保育を行う。認定こども園において満3歳以上の就学前児童に対する教育・保育を行なう。	市立保育所及び認定こども園の適正な維持管理。	良質かつ適切な特定教育・保育を行ない、子どもの健やかな成長を目指す。	493,873	370,777	児童が良好な環境で保育が受けられるように施設の保守・点検及び整備に努める。	市立保育所2園・市立認定こども園2園の維持管理経費 1. 委託料・・・9,093千円 2. 需用費・・・30,803千円 3. 工事請負費・・・3,834千円
010202030291	小学校施設整備事業	都市政策部都市戦略室建築課	利用者（児童、教職員、保護者、コミスク、市民等）	各小学校の損耗や機能低下した施設・設備の改良改修を行い、教育環境の改善を図り、利用者に使いやすい施設に改善する。	学習環境等の保全・改善を図る。	101,517	32,568	小学校施設・設備の改良改修を行ない、時代に応じた質の高い教育環境を整備する。	各学校別実施工事（主な工事） 岩園小学校：空調設備改修工事 1件 計：18,003,700円 外 工事件数：3件 工事金額：7,008,800円 【全体内訳】 工事請負費：4件 25,012,500円 総合計：4件 25,012,500円
010202030292	中学校施設整備事業	都市政策部都市戦略室建築課	利用者（生徒、教職員、保護者、コミスク、市民等）	各中学校の損耗や機能低下した施設・設備の改良改修を行い、教育環境の改善を図り、利用者に使いやすい施設に改善する。	学習環境等の保全・改善を図る。	832,346	1,738,144	中学校施設・設備の改良改修を行ない、時代に応じた質の高い教育環境を整備する。精道中学校の令和4年10月末の建て替え完了に向け、着実に工事を進めていく。	各学校別実施工事（主な工事） 精道中学校：建替工事 外15件 計：1,681,134,360円 【全体内訳】 委託料：7件 27,167,800円 工事請負費：16件 1,681,134,360円 備品購入費：48件 21,598,423円 総合計：71件 1,729,900,583円
010202030293	幼稚園施設整備事業	都市政策部都市戦略室建築課	利用者（園児、教職員、保護者、コミスク、市民等）	各幼稚園の損耗や機能低下した施設・設備の改良改修を行い、教育環境の改善を図り、利用者に使いやすい施設に改善する。	学習環境等の保全・改善を図る。	14,746	6,453	幼稚園施設・設備の改良改修を行ない、時代に応じた質の高い教育環境を整備する。	幼稚園施設・設備の改良改修に向けた現地調査等（直営）

施策目標	2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策	2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます

【主な施策】2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010202030294	小学校施設維持管理業務	都市政策部都市戦略室建築課	利用者（児童、教職員、保護者、コミスク、市民等）	小学校施設の施設警備・保守点検・保全等及び施設・設備の補修工事等を行い、安全に利用できるようにする。	犯罪、火災等の予防や発生時の初期対応を図る。施設・設備の機能を維持改善し支障のない状態で機能させる。	349,775	362,260	施設の適正な維持管理を図る。	【業務委託】 保安警備業務委託（包括管理業務委託での契約）1件 8,236,628円 エレベーター等保守点検業務委託（包括管理業務委託での契約）1件 4,210,800円 外 業務委託件数：40件 業務委託金額：28,946,280円 【補修工事（老朽化に伴う補修工事）等】 山手小学校：校舎南側壁面タイル改修工事 外9件 計：3,613,271円 宮川小学校：警報盤他改修工事 外6件 計：1,864,060円 外 工事件数：29件 工事金額：5,776,401円 施設補修費等：7,298,782円 総合計：59,946,222円
010202030295	中学校施設維持管理業務	都市政策部都市戦略室建築課	利用者（生徒、教職員、保護者、コミスク、市民等）	中学校施設の施設警備・保守点検・保全等及び施設・設備の補修工事等を行い、安全に利用できるようにする。	犯罪、火災等の予防や発生時の初期対応を図る。施設・設備の機能を維持改善し支障のない状態で機能させる。	35,996	86,051	施設の適正な維持管理を図る。	【業務委託】 保安警備業務委託（包括管理業務委託での契約）1件 3,349,962円 ガスヒューボン保守点検業務委託（包括管理業務委託での契約）1件 2,851,750円 外 業務委託件数：22件 業務委託金額：14,745,610円 【補修工事（老朽化に伴う補修工事）】 潮見中学校：中庭体育館周リグレーチング改修工事 外6件 計：3,168,088円 外 工事件数：13件 工事金額：2,841,740円 施設補修費等：3,170,487円 総合計：30,127,637円
010202030296	幼稚園施設維持管理業務	都市政策部都市戦略室建築課	利用者（園児、教職員、保護者、コミスク、市民等）	幼稚園施設の施設警備・保守点検・保全等及び施設・設備の補修工事等を行い、安全に利用できるようにする。	犯罪、火災等の予防や発生時の初期対応を図る。施設・設備の機能を維持改善し支障のない状態で機能させる。	58,884	51,972	施設の適正な維持管理を図る。	【業務委託】 エレベーター等保守点検業務委託（包括管理業務委託での契約）1件 435,600円 空調機保守点検業務委託（包括管理業務委託での契約）1件 410,080円 外 業務委託件数：15件 業務委託金額：3,059,408円 【補修工事（老朽化に伴う補修工事）】 小槌幼稚園：1階手洗い人研ぎ補修工事 外5件 計：1,302,950円 外 工事件数：10件 工事金額：1,346,180円 施設補修費等：1,805,045円 総合計：8,359,263円
010202030570	教育委員会その他一般事務	教育委員会教育部教育統括室管理課	児童、生徒、教職員、事務局職員	教育行政の円滑な運営の補助	教育行政の円滑な運営に資する	20,539	18,030	教育委員会事務局での一般管理事務を適切に行う。 第3期教育振興基本計画の進行管理を適切に行う。	□教育振興基金積立金 1,003千円 □一般管理事務経費 ・需用費（就学通知書印刷費、参考図書費、新聞代、事務用品等）2,053千円 ・使用料・賃借料（複写機使用料、通送料等）762千円 ・役務費（市有物件建物総合損害共済基金分担金、廃棄物手数料、自賠責保険料等）1,903千円 ・その他 1,367千円

施策目標	2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策	2 就学前教育・保育施設、学校、家庭、地域が連携・協働し、未来を見据えた教育環境を整えます

【主な施策】2 時代に応じた質の高い教育・保育環境の整備

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010202030253	小学校維持管理	教育委員会教育部教育統括室管理課	市立小学校に就学している児童	児童が良好な状態で教育を受けられる環境を保つ。	良好な教育環境を保つ。	189,284	179,111	児童が良好な環境で教育を受けられるよう保つ。	学校施設の維持管理 ・光熱水費 電気使用料 82,613千円 ガス使用料 40,935千円 上下水道使用料 32,322千円 ・その他 21,436千円
010202030254	中学校維持管理	教育委員会教育部教育統括室管理課	市立中学校に在学している生徒	生徒が良好な状態で教育を受けられる環境を保つ。	良好な教育環境を保つ。	89,266	76,061	生徒が良好な環境で教育を受けられる環境を保つ。	学校施設の維持管理 ・光熱水費 電気使用料 32,643千円 ガス使用料 17,062千円 上下水道使用料 15,424千円 ・その他 9,154千円
010202030255	幼稚園維持管理	教育委員会教育部教育統括室管理課	市立幼稚園に在園している園児	園児が良好な状態で教育を受けられる環境を保つ。	良好な教育環境を保つ。	39,668	16,918	園児が良好な保育が受けられる環境を保つ。	幼稚園施設の維持管理 ・光熱水費 電気使用料 6,959千円 ガス使用料 121千円 上下水道使用料 1,360千円 ・その他 8,632千円
010202030267	道徳教育推進事業	教育委員会教育部学校教育室学校支援課	児童生徒及び教職員	学校園・家庭・地域社会が一体となって心の教育の充実を図る。	・内面に根ざした道徳性の育成を図る。 ・心に響く道徳の時間の充実を図る。 ・家庭や地域との連携を図り道徳的実践力を養う。	592	1,104	1 指導と評価が一体化する授業実践研究を深める。 2 「私たちの道徳」及び兵庫県版道徳教育副読本の活用を推進する。 3 教職員の研修会や授業研究会を充実させる。	1 道徳教育スキルアップ支援研究会 令和4年6月20日 芦屋市立山手中学校 41人 2 道徳教育実践研修 第1回 令和4年5月31日 神戸文化ホール 12人 第2回 令和4年12月 WEB研修 12人

施策目標	2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策	その他

【主な施策】その他事務事業（法定受託、経常業務など）

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010203060245	芦屋市奨学金	教育委員会教育部教育統括室管理課	経済的理由により、修学困難な高校生	経済的理由により修学困難な者に奨学金を支給して教育の機会均等の措置を講じ、修学を奨励する。	教育の機会均等の保障及び修学の奨励	9,826	8,906	経済的に修学困難な高校生に奨学金を支給する。	給付人数及び支給額 公立高校 26人 1,575千円 私立高校 50人 4,067千円 計 76人 5,642千円
010203060246	就学援助費	教育委員会教育部教育統括室管理課	経済的理由により、児童・生徒が就学させることが困難な保護者	経済的理由により、就学が困難な児童・生徒の保護者に援助費を給付することにより義務教育の円滑な実施に資する。	教育の機会均等の保障及び就学奨励	36,875	36,802	要保護及び準要保護児童生徒の就学に必要な経費を給付する。	国の制度改革を受け、新入学学用品費等の単価を引き上げ支給した。 □支出費目及び支出額 新入学学用品費 【入学後】（小学校757千円/中学校480千円） 【入学前】（小学校1,730千円/中学校3,402千円） 学用品、通学用品費（小学校5,056千円/中学校5,009千円） 校外活動費（小学校425千円/中学校197千円） 校外活動費（宿泊付）（小学校216千円/中学校0千円） 修学旅行費（小学校1,279千円/中学校4,108千円） 卒業アルバム代（小学校696千円/中学校607千円） 通学費（小学校186千円/中学校185千円） 体育実技費（中学校98千円） オンライン学習通信費（小学校4,465千円/中学校2,472千円） 特別支援教育就学奨励費（小学校547千円/中学校297千円）
010203060248	私立学校園助成費	教育委員会教育部教育統括室管理課	市内の私立幼稚園の設置者（新制度に移行する幼稚園は特別支援教育振興助成金のみ対象）	市内の私立幼稚園の教育の振興と充実を図る。	私立幼稚園の健全な運営を助成することにより、幼稚園教育の振興と充実を図る。	1,340	1,336	市内の私立幼稚園の教育振興と充実を図る。	均等割 600千円 1園に交付 600千円
010203060251	在日外国人学校就学補助金	教育委員会教育部教育統括室管理課	外国人学校の初級部及び中級部に在籍する外国人児童・生徒の保護者	外国人学校に在籍する外国人児童生徒の保護者負担の軽減を図り、就学を援助する。	教育の機会均等の保障と就学奨励	1,639	3,266	外国人学校に在籍する外国人児童生徒の保護者に補助金を給付する。	□対象者内訳 尼崎朝鮮初中級学校 2人 大阪中華学校 1人 神戸中華同文学校 2人 カナディアンアカデミー 5人 計10人 □補助費目及び支給額 新入学児童生徒学用品費 120千円（中級部 2人） 学用品費・通学用品費 179千円（初級部 6人、中級部 4人） 修学旅行費 23千円（初級部 1人）
010203060252	教育委員会の運営	教育委員会教育部教育統括室管理課	市民	教育行政の執行の安定性・継続性を確保する。	学校教育及び社会教育の推進、充実を図る。	17,766	16,415	教育に関する事務を執行・管理し、教育委員会を適切に運営する。	□会議の開催数 定例委員会12回、臨時委員会8回、協議会23回 □議決結果 計71件 ・可決 条例規則の制定9件、その他24件 ・承認 専決処分報告17件、報告事項21件

施策目標	2 未来への道を切り拓く力が育っている
基本施策	その他

【主な施策】その他事務事業（法定受託、経常業務など）

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010203060682	遠距離通学費助成	教育委員会教育部教育統括室管理課	市立小中学校までの通学距離が、概ね小学生で4キロメートル、中学生で6キロメートル以上ある児童生徒の保護者（該当地域：奥池町、奥池南町全域）	遠距離通学を行う児童生徒の保護者に対して通学費の一部を助成することにより、通学の安全の確保及び保護者の負担軽減を図る。	児童生徒の通学の安全確保及び保護者の負担軽減を図る。	3,648	3,910	市立小中学校へ遠距離通学する児童生徒の保護者に対して通学費の一部を助成する。	対象者及び助成金額 小学生 31人 794千円 中学生 4人 172千円
010203064043	私立幼稚園子育て支援事業	教育委員会教育部教育統括室管理課	私立幼稚園（新制度に移行しない園）に在園している園児の保護者	幼児教育の無償化の取組を一気に加速化させ、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策及び生涯にわたる人格形成の基礎を培う高い質の幼児教育の機会を保障する。	私立幼稚園を利用する保護者負担を軽減することによる少子高齢化対策及び子どもたちに質の高い幼児教育に機会を保障する。	111,604	102,524	幼児教育無償化について円滑に実施する。	・私立幼稚園（新制度に移行しない園）の入園料・保育料無償化分 対象者 331名、給付額 94,071千円 ・保育の必要性の認定を受けた場合の預かり保育料無償化分 対象者 100名、給付額 4,762千円 ・副食費の無償化分 対象者 15名、給付額 251千円
010203060282	打出教育文化センター一般事業	教育委員会教育部学校教育室打出教育文化センター	保護者・幼児児童生徒及び学校園教職員	各種研修所との連携により研修の充実を図る。戸屋市在住の保護者の幼児児童生徒に関する悩み（特にICT教育関連）に対して専門的な立場から相談を受け幼児児童生徒の健全な育成を図る。	阪神間や県の各自治体の取り組みや情報を収集して、教職員研修の充実を図ると共に、最新の教育情報を各学校園に提供する。市民保護者の学校園への信頼度の増加	2,545	2,509	県内や阪神間の教育研究所との連携により研修の充実を図る。 情報教育相談業務において、学校をはじめとする関係機関とのさらなる連携強化に努める。	1 教育研究所との連携 （1）県、阪神の各教育研究所連盟が主催する研修会に参加及び実践発表を行い、相互交流することで、今後の研修や研究に生かす。 2 情報教育相談業務 （1）センター所員による相談
010203060288	打出教育文化センター管理運営	教育委員会教育部学校教育室打出教育文化センター	市民、学校園教職員	市民とその関係者に対し安全で美しい施設管理を行う。また、研修に使用しない時期に会議室等を貸室として市民に貸すことにより、様々な文化活動を行い、コミュニティーの場として運営を図る。	・市民の憩いの場とする。・教職員の研修センターとして、活用される場とする。	19,243	35,820	貸室利用者や研修受講者が利用目的をより達成できるような施設の整備に努める。 打出教育文化センター及び図書館分室の大規模改修に向けて各関係機関と協議を行う。	施設の適切な運営管理を行ない、快適な施設利用ができるようにする。 □施設管理業務委託 4,405千円 □電気・ガス・水道料金 3,124千円 □物品補修・施設補修費 97千円 □燃料・車検費 85千円 □電信電話料 252千円 □工事請負費 0円 □大規模改修設計委託 11,375千円 □協働コーディネーター業務委託 495千円 □年間貸室回数 446回

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (文化推進計画の策定と進行管理に関する事務), 事務事業番号 (010301010631), 担当所属 (企画部市長公室政策推進課), 担当課長名 (柏原 由紀)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画 (芦屋市文化推進基本計画), 事業期間 (平成22年度 ~), 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 根拠法令等 (芦屋市文化基本条例), 実施区分 (直営), 財源 (市), 施設種別 (その他)

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】市民、事業者、市, 【意図】文化推進基本計画において文化施策を包括的に示すとともに、市民、事業者及び市が連携・協働して効果的に推進する。), 【全体概要】(第2次文化推進基本計画(平成29年度~令和7年度)の進行管理・今後の取組に反映させるため、前年度の取組を振り返り、課題や改善策について検討する。), 【大きな目的】(文化推進基本計画の基本目標である「自然に恵まれた、人が心豊かに生きることのできるまち」を目指す。)

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について (住民1人当たり(円), 1世帯当たり(円), 人口, 世帯数), 事業費 (特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源), うち人件費合計 (活動配分, 正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費), 事業費の増減理由(令和3年度から令和4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 (計画の進行管理、文化推進審議会の開催・意見とりまとめ)

令和 4年度の実施内容 (第2次文化推進基本計画に基づく事業評価を実施 評価時期：6月, 文化推進審議会の開催 [R4. 8. 18] ・令和4年度芦屋市文化推進基本計画評価報告書について ・第2次芦屋市文化推進基本計画の評価におけるアンケート調査について)

令和 4年度の改善内容 (令和5年度実施予定のアンケート調査項目案を審議会にて協議の上決定した。)

現在認識している課題 (令和5年度に予定しているアンケート調査の実施方法(他事業のアンケートとの集約実施))

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (法令等により市が実施しなければならない文化基本条例に基づき文化の推進を図るものであるため、妥当である。), 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価 (整合性はある), 総合戦略の推進に貢献しているか, 総合評価 (貢献度が大きい), 評価結果や計画立案された改進黨を着実に実行しているか, 総合評価 (改革終了/計画どおり実行中), 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか, 総合評価 (類似事業はない/統廃合はできない), 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 総合評価 (できる), 成果を低下させずに、コストを削減できるか, 総合評価 (コスト削減の余地はない), 受益者負担を求めることができる事業か, 総合評価 (負担を求めるべき事業ではない)

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容 (計画の進行管理、文化推進審議会の開催・意見とりまとめ、アンケート調査の実施及び分析、令和6年度実施予定のアンケート調査項目の検討。)

今後の課題 (各課で行われている文化事業に関する情報の集約・整理及び発信と各施策の進行管理を行う評価手法の確立), 今後の取組・方向性 (引き続き文化推進審議会を開催し、市内における文化事業への意見を踏まえた改善を図りながら、文化推進基本計画の進行管理を行うことで、更なる文化施策の推進に努める。)

Table with 2 columns: 総合評価 (各課で行われている文化事業についての検証と更なる改善を続ける必要がある。), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (現状維持)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 美術博物館管理運営事業, 教育委員会教育部社会教育室生涯学習課, 010301010341, 田嶋 修.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 項目, 内容. Includes 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 【対象】, 【全体概要】. Includes details about museum management, collection, and facility maintenance.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費, うち人件費合計, うち経費.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
令和 4年度は、改修工事を実施したため、増額となった。

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標
□谷崎潤一郎記念館との一括管理による事業の効率化 □改修工事の実施 □収蔵資料(歴史資料等)の台帳整備 □文化ゾーンの連携と活性化

令和 4年度の実施内容
□指定管理料 58,496千円
□入館者数 5,170人 (有料入館者2,674人、無料入館者2,496人)
・展覧会観覧者数 3,371人 ・展覧会関連事業参加者数 210人
・講演会・講座等参加者数 35人 ・ワークショップ参加者数 132人
・その他事業参加者数 742人 ・中学生以下の入館者数 337人
□改修工事 258,909千円
□美術博物館協議会の開催 1回 □美術品収集委員会の開催 1回

令和 4年度の改善内容
□改修工事の実施
□利用者の満足度向上のための取組の実施 (歴史資料展示室の展示内容の充実、芦屋の歴史動画の作成、土器の破片や昔の道具のハンズオン体験コーナーの新設等)

現在認識している課題
□谷崎潤一郎記念館との一括管理による事業の効率化 □収蔵資料(歴史資料等)の台帳整備 □アクセス方法の改善 □文化ゾーンの連携・活性化

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価内容. Includes sections for 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価.

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容
□谷崎潤一郎記念館との一括管理による事業の効率化 □収蔵資料(歴史資料等)の台帳整備 □文化ゾーンの連携と活性化

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes details about collection management and facility improvements.

Table with 2 columns: (総合評価), 評価項目. Includes 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 谷崎潤一郎記念館管理運営事業, 教育委員会教育部社会教育室生涯学習課, 010301010321, 田嶋 修.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像, 総合計画. Includes 人々がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市, 施策分野 01 子育て・教育, 施策目標 03 3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象: 市民及び全国の谷崎潤一郎文学の愛好者・研究者等, 意図: 谷崎文学を知ることができ、文豪谷崎潤一郎の業績を顕彰できる.

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費, 特定国費, 特定県費, 財市債, 財源, うち経費, 活動配分, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)
令和 4年度は、改修工事を実施したため、増額となった。

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes 美術博物館との一括管理による事業の効率化, 文化ゾーンの連携・活性化, 指定管理料 15,500千円, 入館者数 5,414人.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes 改修工事の実施, 利用者の満足度向上のための取組の実施, 美術博物館との一括管理による事業の効率化.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes 改修工事の実施, 利用者の満足度向上のための取組の実施.

Table with 2 columns: 現在認識している課題. Includes 美術博物館との一括管理による事業の効率化, アクセス方法の改善, 文化ゾーンの連携・活性化.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 有効性評価, 効率性評価. Includes 事業実施に妥当性があるか, 総合評価 現時点では市による実施が妥当である, 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 美術博物館との一括管理による事業の効率化, 改修工事の実施, 文化ゾーンの連携・活性化.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 美術博物館との一括管理による事業の効率化, アクセス方法の改善, 文化ゾーンの連携・活性化.

Table with 2 columns: 総合評価, 妥当性, 達成度, 改善余地, 今後の方向. Includes 今年度もコロナウイルス感染症の影響があったものの、感染拡大防止策を徹底し、改修工事で休館期間もあったことから、限られた期間で工夫して事業を実施した。

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 2 columns: 事務事業名 (文化財保護及び活用事業), 事務事業番号 (010301010343), 担当所属 (教育委員会教育部社会教育室生涯学習課), 担当課長名 (田嶋 修)

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 芦屋の将来像 (人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市), 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間 (～ 永年), 会計種別 (一般会計), 事業種別 (自治事務), 根拠法令等 (文化財保護法 芦屋市文化財保護条例 芦屋市文化財保護条例施行規則 芦屋市文化財保存整備費等補助金交付要綱), 実施区分 (直営, 委託, 補助), 財源 (市, 国・県等の補助), 施設種別

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要 (【対象】, 【意図】), 【全体概要】 (埋蔵文化財発掘調査の実施, 埋蔵文化財発掘調査報告書の作成・刊行, 出土品等の管理・保管, 文化財の調査・研究, 近現代の芦屋の聞き取り・記録調査, 文化財の整理, 文化財の管理・保管, 文化財保護審議会の開催, 市指定文化財候補等の調査, 文化財の指定・登録, 指定文化財の保存・修理, 遺跡等の環境整備, 国指定史跡会下山遺跡の整備・活用, 文化財関連冊子等の刊行, 文化財ボランティアの養成, 文化財の普及啓発 (講座, まち歩き, 展示等), 日本遺産活用推進事業の実施)

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes rows for 合計, 事業費 (特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他, 一般財源), うち人件費合計, 活動配分 (正職員, 会計年度任用職員), うち経費 (減価償却費, 他部門経費), 事業費の増減理由 (令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標 (芦屋の歴史遺産未来継承事業 (出土金属器の保存処理, 絵図・古写真等のデジタル化))

令和 4年度の実施内容 (芦屋の歴史遺産未来継承事業 (出土金属器の保存処理, 絵図・古文書・古写真のデジタル化), 埋蔵文化財発掘調査の実施 (確認調査 9件), 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行 (3冊), 出土品の整理作業 (県指定史跡の指定 1件 (金津山古墳), 文化財保護審議会の開催 1回), 遺跡の環境整備の実施 (草刈り: 会下山遺跡 2回 [内, 1回は芦屋ライオンズクラブの奉仕活動], 朝日ヶ丘遺跡 2回, 金津山古墳 2回), 文化財ボランティアの養成 (登録人数 8人), 三条文化財整理事務所の展示室の開館 (来館者数 250人), 阪神間日本遺産活用推進事業の実施)

令和 4年度の改善内容 (県指定史跡の指定 (金津山古墳), 芦屋の歴史遺産未来継承事業 (出土金属器の保存処理, 絵図・古文書・古写真のデジタル化))

現在認識している課題 (ヨドコウ迎賓館の国指定重要文化財の追加指定, 文化財保存活用地域計画の策定, 国指定史跡会下山遺跡の管理団体の指定及び史跡整備活用計画の策定, 文化財ボランティアの養成)

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (法令等により市が実施しなければならない文化財保護法及び市文化財保護条例等に基づき, 事業を実施している), 前期基本計画との整合性はあるか, 総合評価 (整合性はある), 総合戦略の推進に貢献しているか, 総合評価 (貢献度が中程度), 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか, 総合評価 (概ね実行している), 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか, その事業と統合/代替できないか, 総合評価 (類似事業はない/統合はできない), 手段変更によって費用対効果をあげることができるか, 総合評価 (できない), 成果を低下させずに, コストを削減できるか, 総合評価 (コスト削減の余地はない), 受益者負担を求めている, 総合評価 (適正な負担を求めている)

【今後の対応・方向性】

令和 5年度の目標・改善内容 (芦屋の歴史遺産未来継承事業 (絵図・古写真等のデジタル化), ヨドコウ迎賓館の国指定重要文化財の追加指定のための調査)

今後の課題 (文化財保存活用地域計画の策定, ヨドコウ迎賓館遺構部分の国指定重要文化財の追加指定及び保存修理工事, 国指定史跡会下山遺跡の管理団体の指定及び史跡整備活用計画の策定, 文化財ボランティアの養成, 歴史資料のデジタル化), 今後の取組・方向性 (文化財保存活用地域計画の策定, ヨドコウ迎賓館遺構部分の国指定重要文化財の追加指定及び保存修理工事, 国指定史跡会下山遺跡の管理団体の指定及び史跡整備活用計画の策定, 文化財ボランティアの養成, 歴史資料のデジタル化)

総合評価 (芦屋の歴史遺産未来継承事業として, 出土金属器の保存処理, 絵図・古文書・古写真のデジタル化を実施した。また, 金津山古墳を兵庫県指定史跡に指定することができた。), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (現状維持)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 図書館運営事業 (収集整理利用), 教育委員会教育部社会教育室図書館, 010301020317, 鈴木 和美.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 戸屋の将来像, 総合計画. Includes 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市 and various strategy items like 子育て・教育, 生涯を通じた学びの文化が醸成されている.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 【全体概要】. Details the collection and management of books and materials, and the goal of providing learning opportunities for residents.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について, 市民1人当たり(円). Shows financial data for the project from 2021 to 2025.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 資料の収集・提供・保存、読書案内、レファレンス、読書関連行事の開催.

Table with 2 columns: 令和 4年度の実施内容, 図書館協議会 2回, 貸出冊数 696,621冊, etc.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 新型コロナウイルス感染リスクを低減しながらの読書関連行事の開催, etc.

Table with 2 columns: 現在認識している課題, 非来館型サービスと来館型サービスの相乗効果の推進.

【事業の評価】

Table with 2 columns: 目的妥当性評価, 総合評価. Evaluates the project against various criteria like appropriateness, effectiveness, and efficiency.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 図書館システムの更新並びにICタグ及びIC機器の導入, etc.

Table with 2 columns: 今後の課題, 今後の取組・方向性. Discusses challenges like digitalization and future plans for service improvement.

Table with 2 columns: (総合評価), 妥当性, 達成度, etc. Provides an overall assessment and future outlook.

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 生涯スポーツ推進事業, 教育委員会教育部社会教育室スポーツ推進課, 010301030309, 高橋 正治.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 内容, 値. Includes 戸屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 事業概要, 全体概要. Includes 対象, 意図, 大きな目的, 全体概要.

【事務事業の経費】

Table with 6 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 合計, 事業費, うち人件費合計, うち経費, 減価償却費, 他部門経費.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容.

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容. Includes 令和 4年度の改善内容.

Table with 2 columns: 現在認識している課題. Includes 現在認識している課題.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, ライフステージに応じた多くの市民がスポーツに親しむためのきっかけ作りは市が役割の一端を担うべきである.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 前期基本計画との整合性はあるか.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 総合評価.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 総合評価.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 総合評価.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 総合評価.

Table with 2 columns: 事業の評価. Includes 目的妥当性評価, 総合評価, 総合評価.

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容. Includes 令和 5年度の目標・改善内容.

Table with 2 columns: 今後の課題. Includes 今後の課題.

Table with 2 columns: 今後の取組・方向性. Includes 今後の取組・方向性.

Table with 2 columns: 総合評価. Includes 総合評価.

施策目標	3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている
基本施策	1 文化の継承と活用に努めます

【主な施策】 1 歴史的・文化的な資源の活用推進

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010301010490	市民文化賞等顕彰事業	企画部市長公室秘書課	学術、芸術等に取り組む市民・団体。善行に取り組む市民・団体。芦屋警察署の警察官。	芦屋市における市民文化の向上発展を図る(芦屋市民文化賞)。善行者を称え「明るく住みよいまちづくり」に資する(芦屋市善行賞「つつじ賞」)。警察官の士気高揚を図り平和な市民生活を確保する(芦屋市警察官表彰)。	市民文化の向上発展、明るく住みよいまちづくり、市内の治安の確保	3,468	3,494	顕彰すべき潜在候補者の確実な把握	市民文化賞等の顕彰事業を行い、地域の活性化を図った。 【表彰者】 (芦屋市善行賞) グループメルヘン 様 (芦屋市警察官感謝状贈呈) 阪口 直之 様・山本 拓矢 様 (芦屋市民文化賞) 石本 章宏 様
010301010333	芦屋市芸術文化活動助成及び顕彰	企画部市長公室市民参画・協働推進課	芸術文化活動を行う市民	芸術文化活動を行う市民が、活動しやすくなり、より一層親しみをもって取り組む意欲が高まる。また、優秀な成績に対する顕彰により、誇りと意欲が増進する。	市民の芸術文化活動の振興	3,762	3,402	芸術文化活動助成及び表彰について周知する。	□芸術文化活動助成金の交付 □芸術文化活動表彰 表彰者個人19人 3団体 □摂津圏文化行政連絡協議会 令和4年12月16日 豊中市立文化芸術センター
010301010338	富田碎花顕彰事業	教育委員会教育部社会教育室生涯学習課	市民及び全国の文学の愛好者	□市民及び全国の文学の愛好者が富田碎花旧居を安全快適に利用できるように、設備・施設を良好に管理する。□市民及び全国の文学の愛好者が、「兵庫県文化の父」と呼ばれる詩人富田碎花について知ることができるよう富田碎花旧居の展示等を充実する。□市民及び全国の文学の愛好者が富田碎花を顕彰できるように、富田碎花賞を実施する。	富田碎花旧居及び富田碎花賞を通じて、「兵庫県文化の父」と呼ばれる詩人富田碎花の偉業を顕彰することによって、芦屋の文化を豊かにする。	6,664	6,740	□富田碎花旧居の入館者数の増加 □富田碎花旧居の活用方法の検討	□富田碎花賞の実施(市主催で行い、選考業務を富田碎花顕彰会に委託) ・受賞作 小林増嶋氏『小松川叙景』 ・応募詩集数 106詩集 □富田碎花賞贈呈式の開催 ・日時 令和4年11月17日(木) ・場所 芦屋市立図書館 □富田碎花旧居の管理運営(富田碎花顕彰会に委託) ・開館日数 118日(団体見学臨時開館を含む)(令和5年3月31日現在) ・入館者数 566人(令和5年3月31日現在)
010301010337	ルナ・ホール事業	教育委員会教育部社会教育室市民センター	音楽コンサート、落語、映画等の芸術鑑賞者	市民文化の振興を図ることを目的として、音楽コンサート、落語、映画会等鑑賞の場を提供する。	市民文化の振興	13,634	12,415	限られた予算の中で、できるだけ多くの市民ができるように演者等を厳選していく。	第2回芦屋国際音楽祭クロージング・コンサート 第80回市民寄席 桂米園治独演会佐ん吉、米園治落語カレッジ公開コンサート 名曲コンサート「思い出のあの歌この歌」 日下紗矢子・日下知奈デュオリサイタル 玉木優トロンボーンリサイタル 第81回市民寄席 ざこば・南光・塩鯛 親子で楽しむクリスマスコンサート いきいきシネマサロン「お終活」、「梅きらぬバカ」等

施策目標	3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている
基本施策	1 文化の継承と活用に努めます

【主な施策】1 歴史的・文化的な資源の活用推進

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
010301011028	講座・セミナー・音楽会等の開催	教育委員会教育部社会教育室公民館	生涯学習の機会を求めている人	さまざまな学習機会の提供	生涯学習の推進を図る	8,638	7,515	生涯学習の場として、様々なジャンルの講座を行い、教養と文化を高めていく	<p>公民館講座等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講記念講座「わたしの映画製作術」 ・日本中世史講座 ・哲学入門講座 ・近現代史講座 ・美術史講座 ・「文化の歴史」 ・芦屋市立病院公開講座 ・近現代文学講座「関西文化に育まれた文学」 ・時空を旅する講座「鎌倉殿の13人」 ・芦屋の歴史と文化財 ・秋の開講記念講座 2025年万博に向けて1970年万博 ・サイエンス講座 ・日本近現代史 ・芦屋市立病院公開講座 ・西洋美術史 ・芦屋大学公開講座 ・日本美術の魅力 ・近代美術 ・経済学講座 ・芦屋の歴史 学芸員と語る芦屋の歴史 <p>公民館音楽会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルート、クラリネット、ピアノの午後 ・チェロ、ピアノ、バレエの饗宴芦屋大学バレエコース ・フランス、ドイツ、日本 音で聴く情景 木田陽子ピアノコンサート ・晩秋のJAZZ ・中嶋弥生ヴァイオリンコンサート ヴァイオリンで巡る和と洋のハーモニー
010301010315	芦屋市立公民館運営審議会等	教育委員会教育部社会教育室公民館	公民館利用者	公民館運営審議会を開催し、各種の事業の企画実施につき調査・審議を行ない、より良い公民館運営に役立てる。	生涯学習の推進を図る	1,280	142	公民館運営審議会として、事業の必要性や取り組み方向性、専門性を生かし、また、市民目線で意見や協議の場とすること	<p>第1回公民館運営協議会（書面開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春・夏の事業の報告」 ・「秋・冬の事業の協議」 <p>第2回公民館運営審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「秋・冬の事業の報告」 ・「翌年度の春・夏の予定事業の協議」
010301010223	阪神南青い鳥・くすの木学級の開催	教育委員会教育部社会教育室公民館	阪神南地区3市の視覚障がい者（青い鳥学級）阪神地区7市1町聴覚言語障がい者（くすの木学級）	阪神南地区3市の視覚障がい者（青い鳥学級）の交流阪神地区7市1町聴覚言語障がい者（くすの木学級）の交流	障がいのある人の地域、年齢を超えた交流を図る	1,610	300	芦屋市が、兵庫県阪神間の「くすの木学級芦屋教室」の開講であり、学級の運営がスムーズに行えるようにする。	<p>令和4年度 阪神青い鳥学級南支部尼崎教室</p> <p>(1) 概要 芦屋市、西宮市、尼崎市に在住の視覚障がい者が対象の教室で、今年度は尼崎市が幹事。</p> <p>定員 尼崎市10人 西宮市10人 芦屋市10人</p> <p>(2) 内容 開講式、歴史講座、館内見学、吹奏楽コンサート、いけばな体験</p> <p>令和4年度 阪神くすの木学級 芦屋教室</p> <p>(1) 概要 阪神間の7市1町（芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町）に在住の聴覚・言語障害者が対象の教室で、今年度は芦屋市が幹事。兵庫県教育委員会が、兵庫県くすの木学級運営委員会に委託し、「阪神くすの木学級芦屋教室運営委員会」が実施。定員30人。</p> <p>(2) 内容 10月30日（日） 芦屋の街の文化探訪「ヨドコウ迎賓館へ」 11月13日（日） 開講式、時事解説と手話落語、講義「阪神間の文化探訪」、閉講式</p>

施策目標	3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている
基本施策	1 文化の継承と活用に努めます

【主な施策】2 多様な連携による読書のまちの推進

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
010301020316	公民館図書室の 運営	教育委員会教育 部社会教育室公 民館	公民館図書室の利用 者	生涯学習並びに教養の向上の支援。	生涯学習の推進を図る	5,810	4,506	公民館図書室として、生涯学習に 対応した専門図書であったり、 生涯学習の支えとなる場として活用 する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書受入冊数 911冊（成人601冊、児童310冊） ・図書除籍冊数 435冊（成人404冊、児童31冊） ・蔵書総冊数 27,546冊（成人20,818冊、児童6,728冊） ・登録者数 121人 ・貸出状況 <ul style="list-style-type: none"> 貸出利用者数 14,386人 貸出利用冊数 52,218冊 紙芝居保有数 575冊

施策目標	3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている
基本施策	1 文化の継承と活用に努めます

【主な施策】3 誰もが健康で豊かなスポーツ文化を楽しめる環境の推進

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010301034005	体育館・青少年センター等の管理運営事業	教育委員会教育部社会教育室スポーツ推進課	□体育館・青少年センター及び川西運動場、中央公園芝生広場、中央公園野球場、東浜庭球場、西浜庭球場の利用者	□指定管理者による体育館・青少年センター及び川西運動場、中央公園芝生広場、中央公園野球場、東浜庭球場、西浜庭球場の維持管理運営を支援する。	□スポーツ施設の利用者が安心安全に施設を利用できるようにする。	76,313	75,310	□多くの市民が施設を安心して利用できるように、指定管理者と定期的に連絡・調整しながら適切な運営を進める。	□指定管理者との月次定例会の実施 ・体育館青少年センター 貸室利用状況 競技場等14,323件 稼働率64.2% トレーニング室 25,529人、稼働率 - ・東浜公園庭球場 貸コート等利用状況 2,338件、稼働率72.8% ・西浜公園庭球場 貸コート等利用状況 2,515件、稼働率78.2% ・川西運動場 利用状況 1,343件 稼働率53.9% ・中央公園野球場 利用状況 1,078件 稼働率49.5% ・中央公園芝生広場 利用状況 507件 稼働率81.5%
010301034006	芦屋公園庭球場管理運営事業	教育委員会教育部社会教育室スポーツ推進課	□芦屋公園庭球場の利用者	□指定管理者による芦屋公園庭球場の維持管理運営を支援する	□芦屋公園庭球場の利用者が安心安全に利用できるようにする	7,889	7,492	□多くの市民が施設を安心利用できるよう、指定管理者と定期的に連絡・調整しながら適切な運営を進める。	□指定管理者との月次定例会の実施 □指定管理者によるスポーツ推進のための自主事業の実施 □新型コロナウイルス感染症対策の実施 ・貸コート等利用状況 庭球場13,971区分 稼働率85.9% 会議室 401区分 稼働率19.3%
010301034007	朝日ヶ丘公園水泳プール管理運営事業	教育委員会教育部社会教育室スポーツ推進課	□朝日ヶ丘公園水泳プール利用者	□指定管理者による朝日ヶ丘公園水泳プールの維持管理運営を支援する。	□朝日ヶ丘公園水泳プールの利用者が安心安全に利用できるようにすすめる。	9,008	7,841	□多くの市民が施設を安心・安全に利用できるように、指定管理者と定期的に連絡・調整しながら適切な運営をする。	□指定管理者との月次定例会の実施 □指定管理者による自主事業の実施 ・屋外プール利用者数 (R4.7.1~8.31) 24,074人
010301034008	海浜公園水泳プール管理運営事業	教育委員会教育部社会教育室スポーツ推進課	□海浜公園水泳プール施設利用者	□指定管理者による海浜公園水泳プール施設の維持管理運営を支援する。	□海浜公園水泳プールの利用者が安心安全に利用できるようにすすめる。	34,299	30,743	□多くの市民が施設を安心・安全に利用していただけるよう、指定管理者と連携し、適切な運営をする。	□指定管理者との月次定例会の実施 □指定管理者による自主事業の実施 ・屋外プール利用者数 (R4.7.1~8.31) 20,980人 ・屋内温水プール利用者数 (R4.4.1~R5.3.31) 50,487人
010301034014	南芦屋浜地区教育施設用地活用事業	教育委員会教育部社会教育室スポーツ推進課	□すべての市民	□するスポーツ・みるスポーツ・ささえるスポーツを推進し、すべての市民が健康で豊かなスポーツ文化を楽しむことができる環境を創る。	□市民の健康と体力の向上を促し健康増進を目的とする。	740	472	社会教育機能を有する健康増進・地域交流に資する施設として活用する。	□市民事業枠と簡易防災倉庫の活用 (健康増進を目的とした事業枠として、フットサルコートや多目的コートの無料利用枠と地域交流のための多機能スペースの無料枠の設置)

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

Table with 4 columns: 事務事業名, 担当所属, 事務事業番号, 担当課長名. Values include 生涯学習推進事業, 教育委員会教育部社会教育室生涯学習課, 010302010305, 田嶋 修.

【事務事業基本情報】

Table with 2 columns: 内容, 値. Includes 芦屋の将来像, 総合計画 (施策分野, 施策目標, 基本施策, 主な施策), 課題別計画, 事業期間, 根拠法令等, 実施区分.

【事業概要】

Table with 2 columns: 【対象】, 【全体概要】. Includes 市民, 【意図】, 【大きな目的】.

【事務事業の経費】

Table with 7 columns: 年度, 単位, 令和 3年度 決算, 令和 4年度 決算, 令和 5年度 予算, 令和 4年度決算について. Includes 合計, 事業費 (特 国費, 定 県費, 財 市債, 源 その他), うち人員費合計, うち経費 (活動配分, 正職員, 会計年度任用職員), 減価償却費, 他部門経費.

【令和 4年度の実施内容】

Table with 2 columns: 令和 4年度目標, 令和 4年度の実施内容. Includes 令和 4年度目標 (あしや学びあいセミナー及び社会教育関係団体公募提案型補助金の周知を行うとともに、実績件数を増やす。), 令和 4年度の実施内容 (生涯学習出前講座 (76講座) の実施 25回, 社会教育委員の会議の開催 3回, 社会教育関係団体登録数 222団体 (令和5年3月31日現在), 社会教育関係団体公募提案型補助金交付決定額 214千円 (5団体), あしや学びあいセミナー登録団体 23団体 実施回数 5回, 市内在住の小学生に対し、のびのびパスポートの配布 8,000枚, 二十歳のつどいの実施 (3部構成・オンラインライブ配信)).

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes 令和 4年度の改善内容 (空欄), 現在認識している課題 (公募提案型補助金とあしや学びあいセミナーの更なる周知).

Table with 2 columns: 令和 4年度の改善内容, 現在認識している課題. Includes 令和 4年度の改善内容 (空欄), 現在認識している課題 (公募提案型補助金とあしや学びあいセミナーの更なる周知).

【事業の評価】

Table with 2 columns: 評価項目, 評価内容. Includes 目的妥当性評価 (事業実施に妥当性があるか), 総合評価 (現段階では市による実施が妥当である), 行政として生涯学習の機会を提供し、市民が主体的な活動を活発にしていけるためのきっかけづくり等の支援をすべきである。), 目的妥当性評価 (前期基本計画との整合性はあるか), 総合評価 (整合性はある), 各種事業の実施により、市民が教養を高め生涯学習を行う機会を提供している。), 目的妥当性評価 (総合戦略の推進に貢献しているか), 総合評価 (貢献度が大きい), 市民が自ら学び、主体的な活動を行う市民参画意識の醸成に繋がっている。), 有効性評価 (評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか), 総合評価 (概ね実行している), 有効性評価 (同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか), 総合評価 (類似事業はない/統合はできない), 効率性評価 (手段変更によって費用対効果をあげることができるか), 総合評価 (できない), 効率性評価 (成果を低下させずに、コストを削減できるか), 総合評価 (コスト削減の余地はない), 効率性評価 (受益者負担を求めることができる事業か), 総合評価 (負担を求めているない).

【今後の対応・方向性】

Table with 2 columns: 令和 5年度の目標・改善内容, 今後の課題, 今後の取組・方向性. Includes 令和 5年度の目標・改善内容 (あしや学びあいセミナー及び社会教育関係団体公募提案型補助金の周知を行うとともに、実績件数を増やす。), 今後の課題 (社会教育関係団体への活動支援について検討する。), 今後の取組・方向性 (各種事業の継続実施と内容の充実。).

Table with 2 columns: (総合評価), 評価項目, 評価内容. Includes (総合評価) (総合評価), 妥当性 (あり), 達成度 (概ね達成した), 改善余地 (ある程度改善の余地がある), 今後の方向 (現状維持).

令和 5年度 事務事業評価票 (令和 4年度 決算評価)

事務事業名	市民会館文化事業	事務事業番号	010302010336
担当所属	教育委員会教育部社会教育室市民センター	担当課長名	木野 隆

【事務事業基本情報】

芦屋の将来像	人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市		
総合計画	施策分野	01 子育て・教育	
	施策目標	03 3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている	
	基本施策	02 2 市民による学びの仕組みづくりを進めます	
	主な施策	01 1 市民による生涯を通じた学習の支援	
課題別計画			
事業期間	昭和38年度 ~	会計種別	一般会計
事業種別	自治事務		
根拠法令等	市民センター運営条例 市民センター運営条例施行規則		
実施区分	直営	財源	市、使用料など
施設種別			

【事業概要】

<p>事業概要</p> <p>【対象】 各種文化団体や絵画創作活動に親しんでいる人</p> <p>【意図】 市民文化の振興を図ることを目的として、各種文化団体が1年間の成果を発表するため、又絵画創作活動に親しんでいる方を対象にホールや展示場を利用して、発表及び鑑賞の場として開催</p> <p>【大きな目的】 市民文化の振興</p>	<p>【全体概要】 ルナ・ホールや市民会館・展示場を利用して、発表及び鑑賞の場を提供。 <input type="checkbox"/>市民絵画展 <input type="checkbox"/>市民ギャラリー・ステージ</p>
---	---

【事務事業の経費】

年度	単位	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	令和 4年度決算について
合計	千円	3,740	519	723	住民1人当たり(円) 5.55
事業費	千円	3,740	519	723	1世帯当たり(円) 12.18
特 国費	千円	0	0	0	人口 93,596
定 県費	千円	0	0	0	世帯数 42,603
財 市債	千円	0	0	0	
源 その他	千円	119	207	275	令和 4年4月1日現在の住民基本台帳(外国人含)より
一般財源	千円	3,621	312	448	特記事項・備考
うち人件費合計	千円	3,503	0		
活動配分	人	0.850	0.000		
正職員	人	0.200	0.000		
会計年度任用職員	人	0.650	0.000		
うち経費	千円	0	0		
減価償却費	千円	0	0		
他部門経費	千円	0	0		

事業費の増減理由(令和 3年度から令和 4年度の変化について)

【令和 4年度の実施内容】

令和 4年度目標	前年度、新型コロナウイルス感染症対策により、縮小していた事業を活性化させる。
----------	--

令和 4年度の実施内容	市民絵画展や市民ギャラリーを実施した
-------------	--------------------

令和 4年度の改善内容	距離をとることや定期的な換気を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を実施した
-------------	---

現在認識している課題	文化事業がコロナ禍前のように、市民の文化発表の場として多くの方の参加があるように進めていく。
------------	--

【事業の評価】	
---------	--

【目的妥当性評価】 事業実施に妥当性があるか	総合評価 現段階では市による実施が妥当である
------------------------	------------------------

市民の自主的な文化振興の場として必要である。	【目的妥当性評価】 前期基本計画との整合性はあるか
------------------------	---------------------------

総合評価 整合性はある	市民の文化高場の場である。
-------------	---------------

【目的妥当性評価】 総合戦略の推進に貢献しているか	総合評価 貢献度が小さい
---------------------------	--------------

文化活動者を増やしていく必要がある。	【有効性評価】 評価結果や計画立案された改革案を着実に実行しているか
--------------------	------------------------------------

総合評価 概ね実行している	【有効性評価】 同じ目的を持つ他の事務事業はあるか、その事業と統合/代替できないか
---------------	---

継続的に実施している。	総合評価 類似事業はない/統廃合はできない
-------------	-----------------------

各市民の参加意思により行っており、文化活動の高場の場として、市が行うことが適当である。	【効率性評価】 手段変更によって費用対効果をあげることができるか
---	----------------------------------

総合評価 できない	【効率性評価】 成果を低下させずに、コストを削減できるか
-----------	------------------------------

個々の意思による参加なので、効果を上げることは難しい。	総合評価 コスト削減の余地はない
-----------------------------	------------------

発表の場であるため	【効率性評価】 受益者負担を求めることができる事業か
-----------	----------------------------

総合評価 適正な負担を求めている	【今後の対応・方向性】
------------------	-------------

文化高場の場として、多大な負担を求めることができない。	令和 5年度の目標・改善内容
-----------------------------	----------------

市民の文化高場の場であり、多くの市民が参加し、多くの人に観覧していただけるように参加者と調整を行う	今後の課題	今後の取組・方向性
---	-------	-----------

市民の文化高場の場であるが、参加者を増やし、多くの人に観覧していただけるようにする。	多くの市民に知ってもらえるように周知し、参加者を増やしていきたい。
--	-----------------------------------

【総合評価】	市民文化事業は、市民の絵画等の発表の場であり、市民の創作意欲や作品への感動があるので、継続して実施するものである。	妥当性	あり
		達成度	一部達成した
		改善余地	改善の余地はない
		今後の方向	現状維持

施策目標	3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている
基本施策	2 市民による学びの仕組みづくりを進めます

【主な施策】 1 市民による生涯を通じた学習の支援

事務事業番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度決算	令和4年度決算	令和4年度目標	実施内容
010302010312	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院	教育委員会教育部社会教育室公民館	60歳以上の市民	60歳以上の市民を対象に学習の機会を提供し、教養を高め、活発な交流を実現する。芦屋川カレッジ修了生がより高度な教養を身につけ、受講生間の仲間作りに取り組む。	生涯学習の推進を図る	8,110	7,000	カレッジは、60歳以上の市民を対象に学習の機会を提供し、教養を高め、活発な交流を実現する。芦屋川カレッジ大学院は、カレッジ修了生でより高度な教養を身につけ、受講生間の仲間作りに取り組む。	新型コロナ対策として、定員を減じましたが、芦屋川カレッジについては昨年より増加したものの定員未達でした（聴講生、大学院については定員以上の応募がありました）。内容については、例年度と同様に、必修科目の受講と選択コースとして、日本文化コースと世界文化コースに分かれて学習しました。大学院については、「こころおどる世界の祭り・カーニバル」テーマとして講義の切り口として、文化・歴史等を学習しました。
010302010313	常設展示事業・公民館ギャラリー	教育委員会教育部社会教育室公民館	生涯学習の機会を求めている人 学習成果の発表の場を求めている人	さまざまな学習機会の提供。市民に学習成果の発表の場を提供すると共に文化意識の向上を図る。	生涯学習の推進を図る	1,510	400	市民に学習成果の発表の場を提供すると共に文化意識の向上を図る。	常設展示事業 「芦屋の街かど写真展」（3月28日～4月6日） 「芦屋川カレッジは修了後が楽しい展」（4月8日～4月16日） 「みんなで考えよう平和展」（8月3日～8月24日） 「夏休み子ども教室作品展」（8月26日～9月5日） 「音楽とバレエ 成り立ちから『瀕死の白鳥』へ」 公民館音楽会関連展示（9月10日～9月26日） 「芦屋のペット、大集合写真展」（10月12日～10月22日） 読書の秋！「読書週間・こどもの読書週間ポスターデザイン展」（10月27日～11月7日） 学校教育課芦屋市造形教育展（12月9日～2月22日） 公民館ギャラリー 13グループ

施策目標	3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている
基本施策	その他

【主な施策】その他事務事業（法定受託、経常業務など）

事務事業 番号	事務事業名	担当所属	事業概要			事務事業の経費〔千円〕		令和4年度の実施内容	
			対象	意図	大きな目的	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度目標	実施内容
010303020332	芦屋市後援名義 使用承認	企画部市長公室 市民参画・協働 推進課	市民、芦屋市の後援 名義を使用申請する 学術・文化・スポー ツ及び福祉に関する 事業を行う団体	市の名義を使用することで、団体等 が主催する行事等が円滑に実施でき る。また、市民の芸術文化活動への 参加の機会が充実し、理解が深ま る。	市民主体の文化・スポーツ等の振興	3,153	3,486	後援名義使用申請から承認まで迅速 かつ適正な審査を行う。	後援名義申請の審査・承認の実施
010303020306	三条分室及び三 条デイサービス センターの維持 管理	教育委員会教育 部社会教育室生 涯学習課	三条分室及び三条デ イサービスセンター 利用者	利用者が安全快適に利用できるよう に、三条分室及び三条デイサービス センターを維持管理する。	三条分室及び三条デイサービスセン ターの利用者が安心快適に利用でき る。	11,897	13,449	<input type="checkbox"/> 必要に応じた施設補修工事の実施	<input type="checkbox"/> 施設管理（施設内清掃、施設内巡回による安全点検等を業務委託） <input type="checkbox"/> 設備等の保守及び保安点検業務委託の実施